

裁判所の情報セキュリティについて

1 情報セキュリティの重要性

- (1) 裁判所が取り扱う情報は、個人情報の集合体であり、裁判記録の中には、秘匿性の高い情報がたくさん存在しています。また、裁判官の判断内容は、いずれかの時点で公開されるものであっても、それ以前の時点で所定の手続によらずに外部に漏えいするようなことは、決してあってはなりません。
- (2) 情報は、例えば、USBメモリの紛失や標的型メールの開封といった一人の職員の一瞬の不注意によって、外部に漏えいするおそれがあります。近時、官公庁や民間企業での情報流出事案が少なからず発生していますが、万が一、裁判所において同様の情報流出事故が起これば、裁判所に対する国民の信頼が損なわれ、裁判所全体に大きなダメージをもたらすことは明らかなです。
- (3) また、昨今の情勢を踏まえると、サイバー攻撃事案のリスクは一層高まっているものと考えられます。この度、内閣官房内閣サイバーセキュリティセンターなどからも、上記の情勢を踏まえ、各機関等におけるサイバーセキュリティ対策の強化を促す旨の注意喚起がされました。標的型メール開封等がないよう、一人一人がサイバー攻撃に対する認識を深め、セキュリティ対策を徹底する必要があります。
- (4) 以上のとおり、裁判官として任官する以上、自らが機密性の極めて高い情報を取り扱う立場にいることを十分認識し、裁判官としての当然の責務として、情報流出を生じさせることのないよう、細心の注意をもって情報を取り扱うようにしてください。

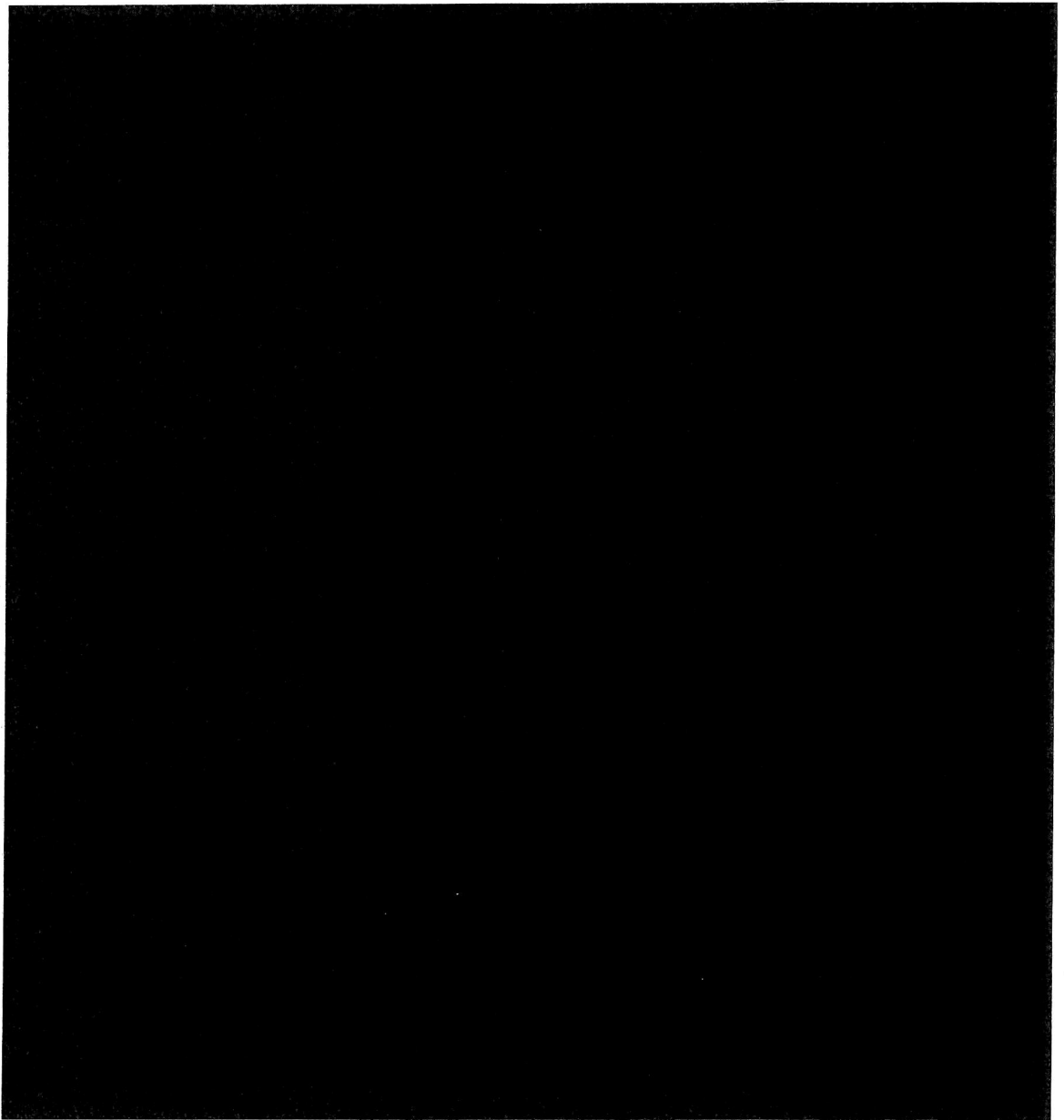
2 裁判所の情報セキュリティルール

(1) 基本的なルールの把握

別添の「情報セキュリティポリシーの要点（裁判官用）」（以下「ポリシー要点」という。）及び「情報セキュリティのルール（裁判官）」は、裁判所の情報セキュリティルールのうち基本的な内容をまとめたものですので、一読してください。

また、裁判所の情報セキュリティルールは、その内容を知られると攻撃者に弱点を突かれるおそれがあるため、公開していません。したがって、ポリシー要点及び情報セキュリティのルール（裁判官）を、裁判所外の人に見せたり紛失したりすることのないように気を付けてください。

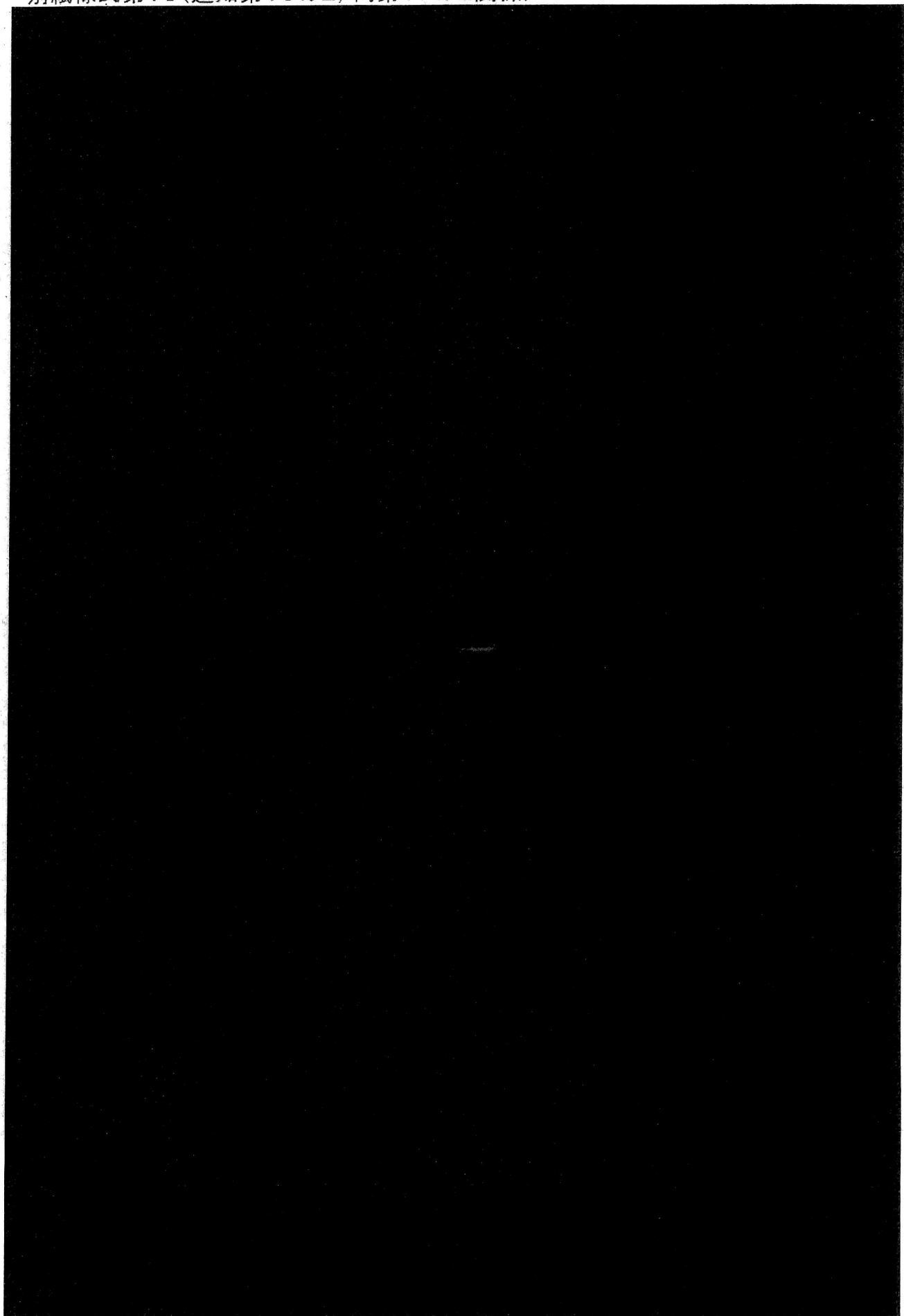




3 提出物（必要のある場合のみ）



別紙様式第10(通知第15の2, 同第17の2関係)



2019年6月施行

裁判所の

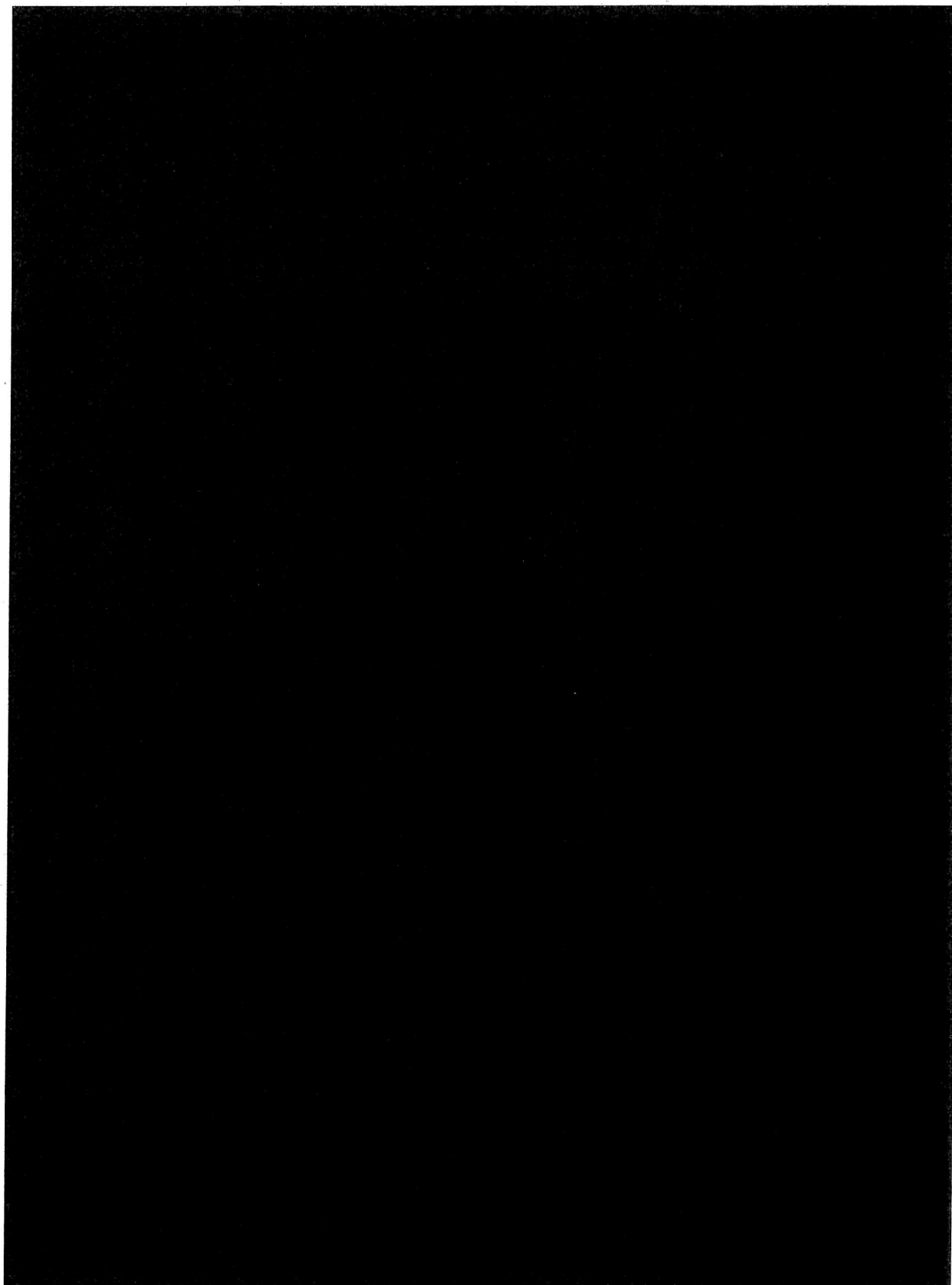
情報セキュリティポリシーの要点

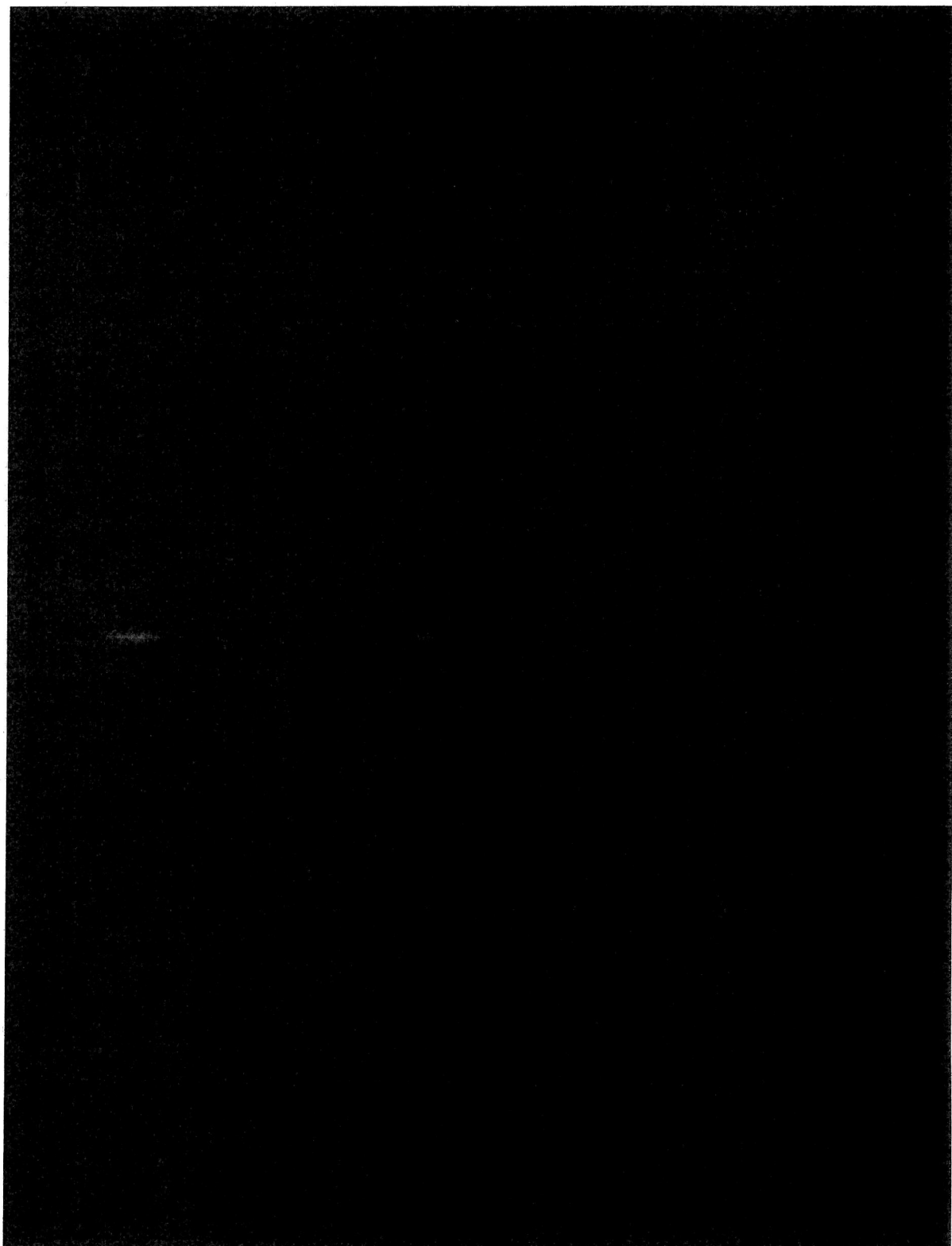
(裁判官用)

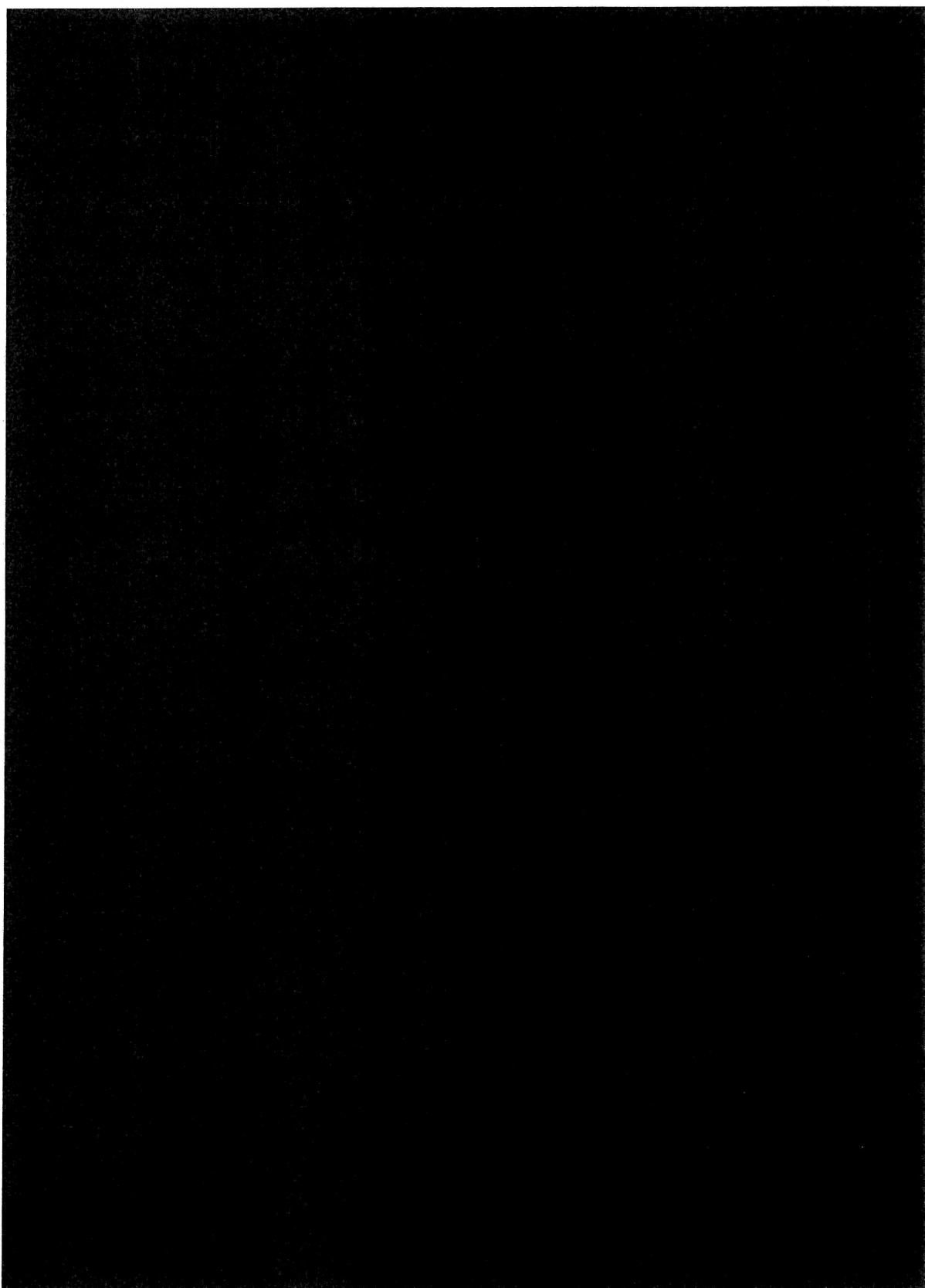
2022年3月改定

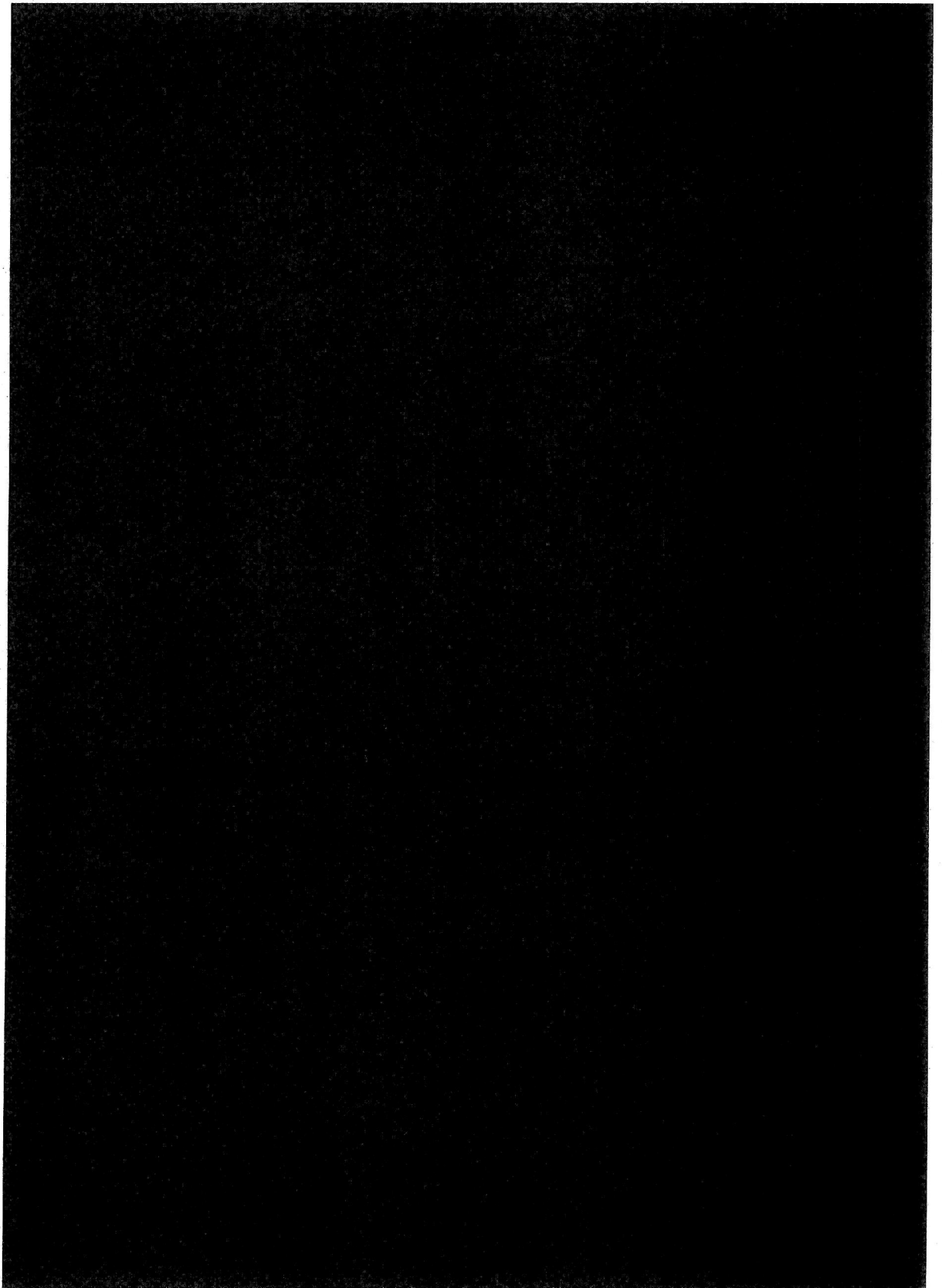
最高裁判所情報政策課

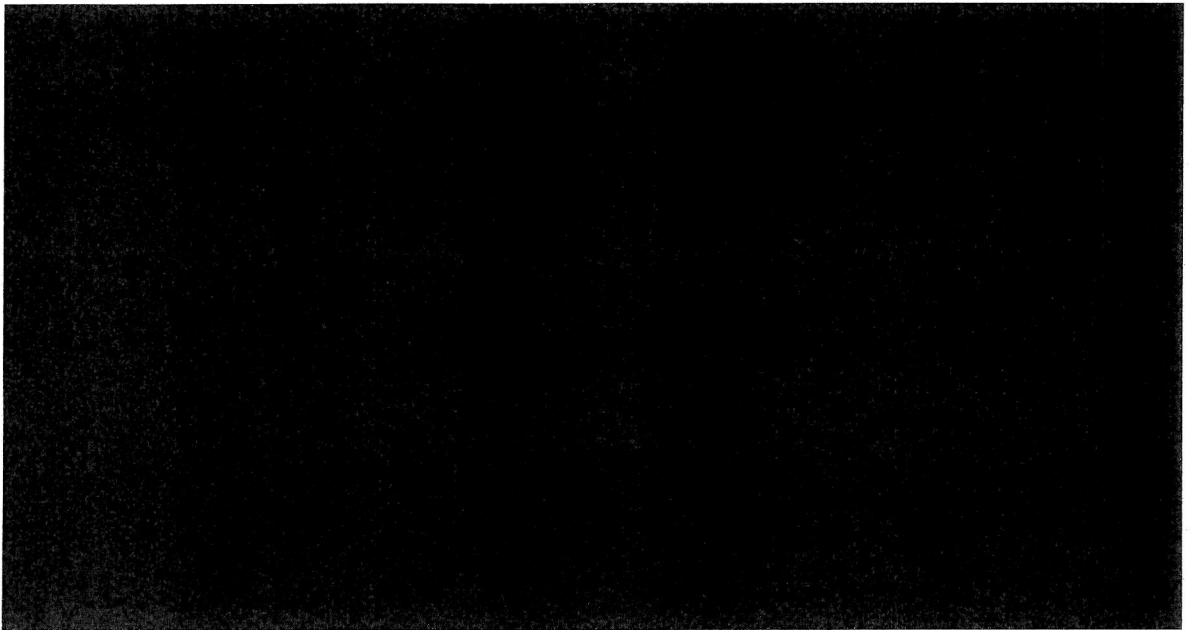
目次

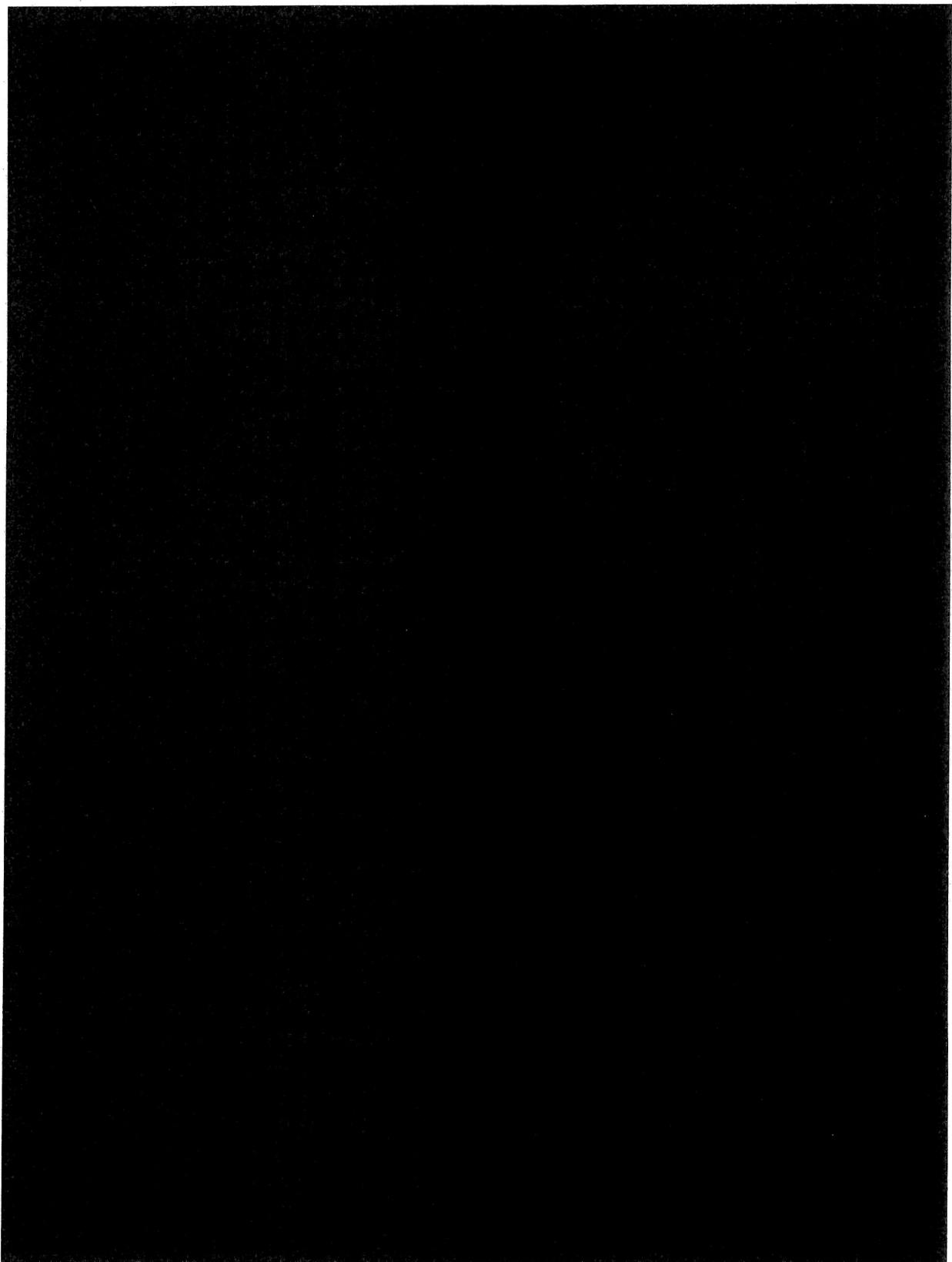


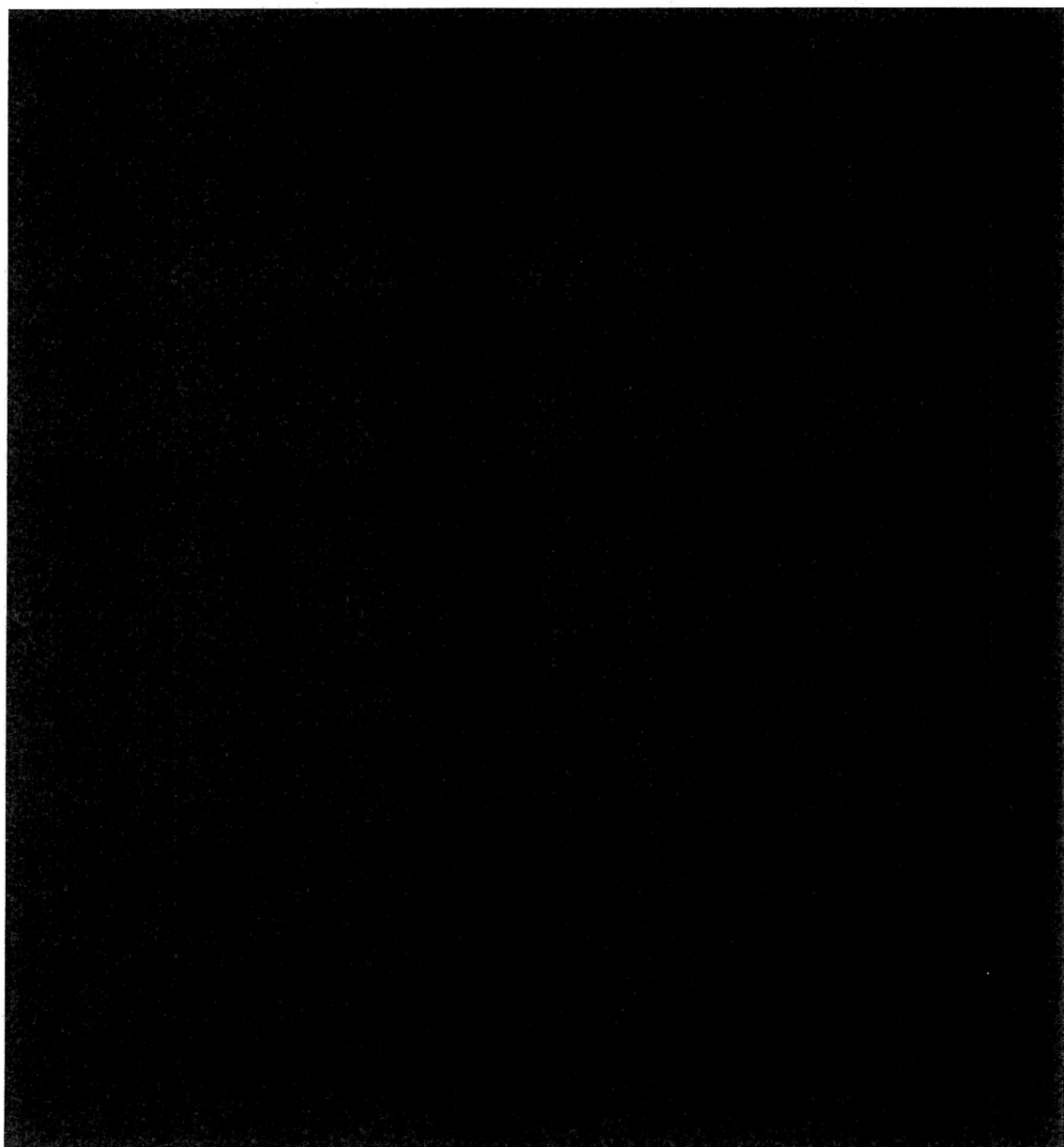


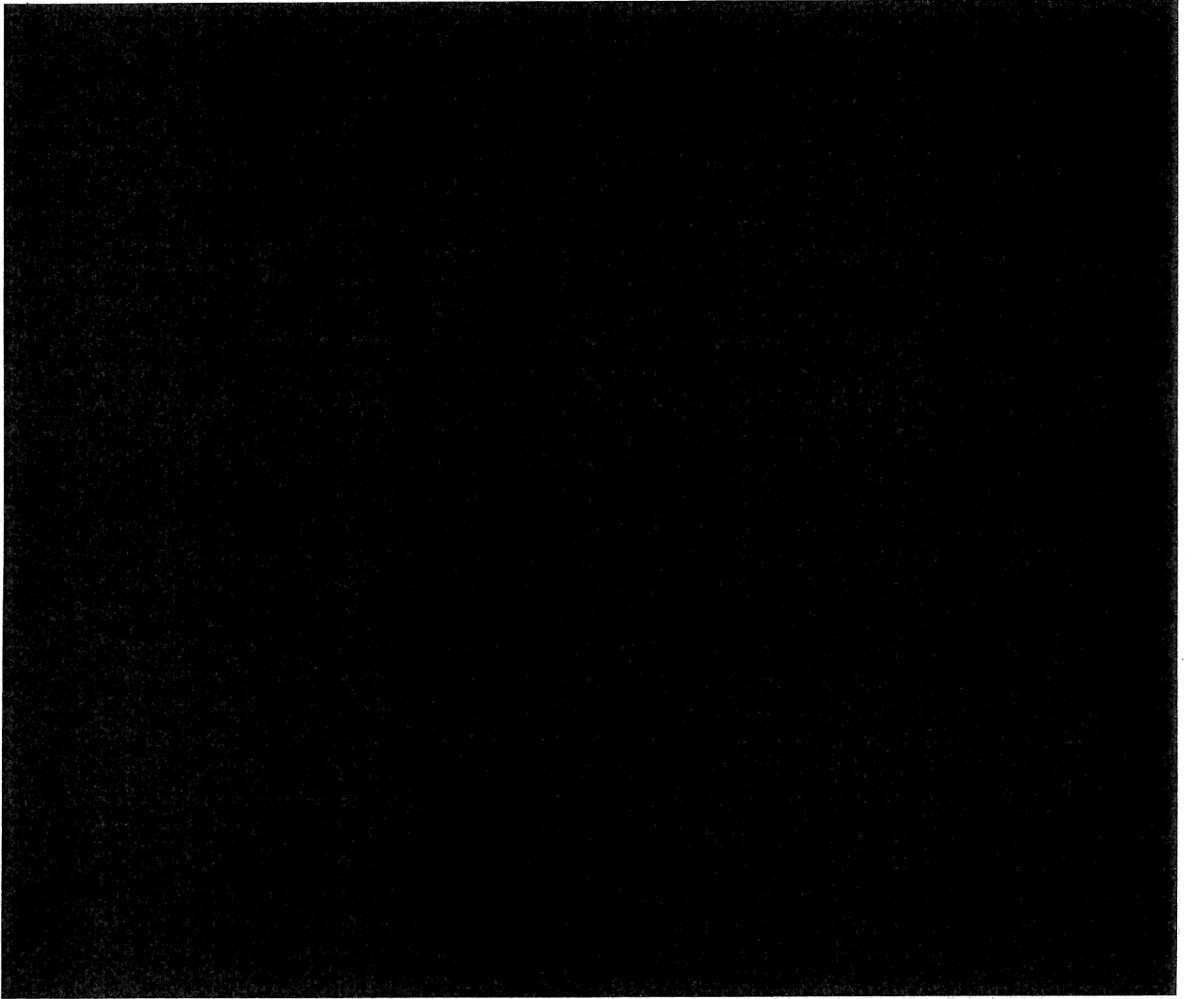


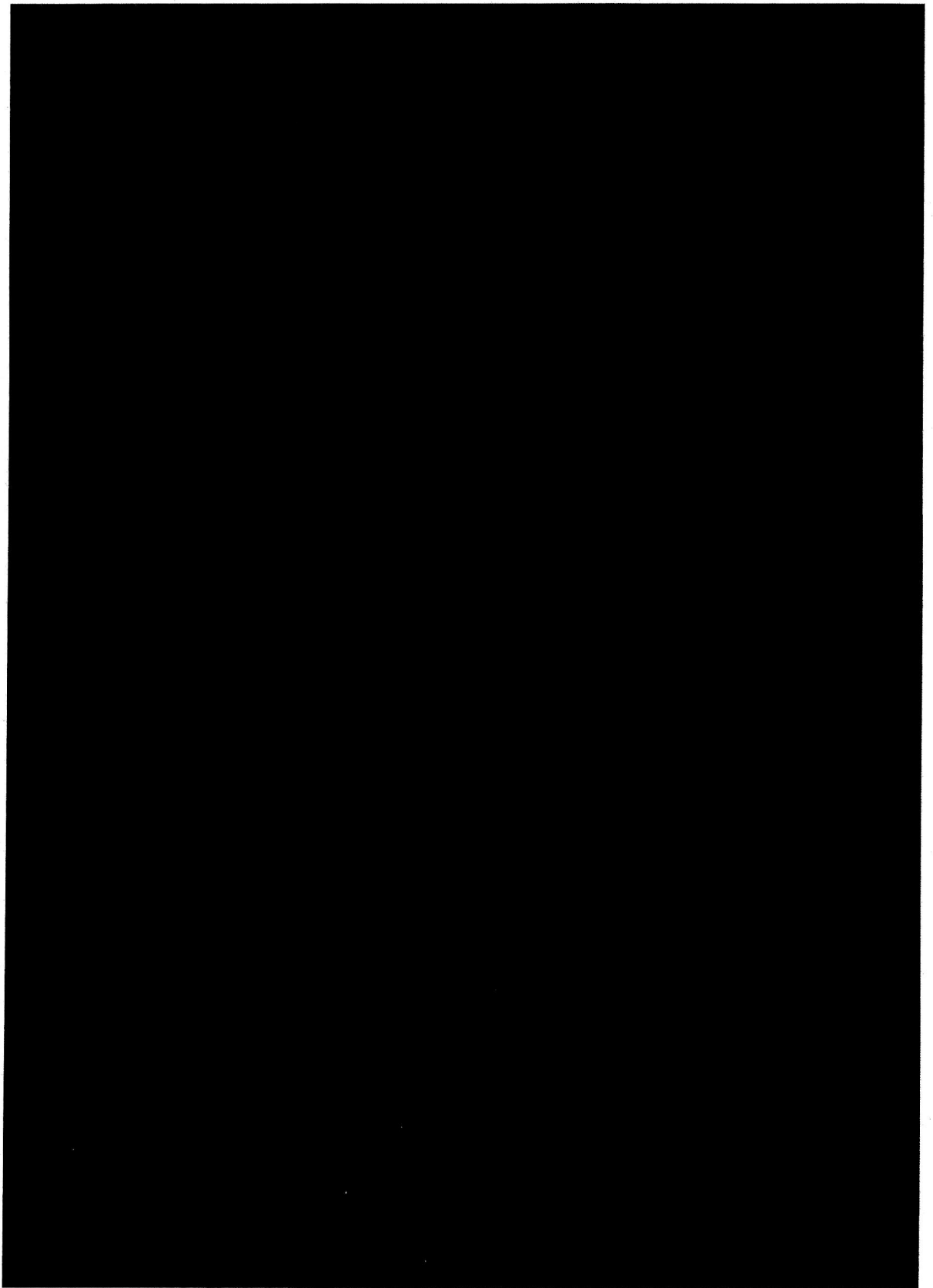


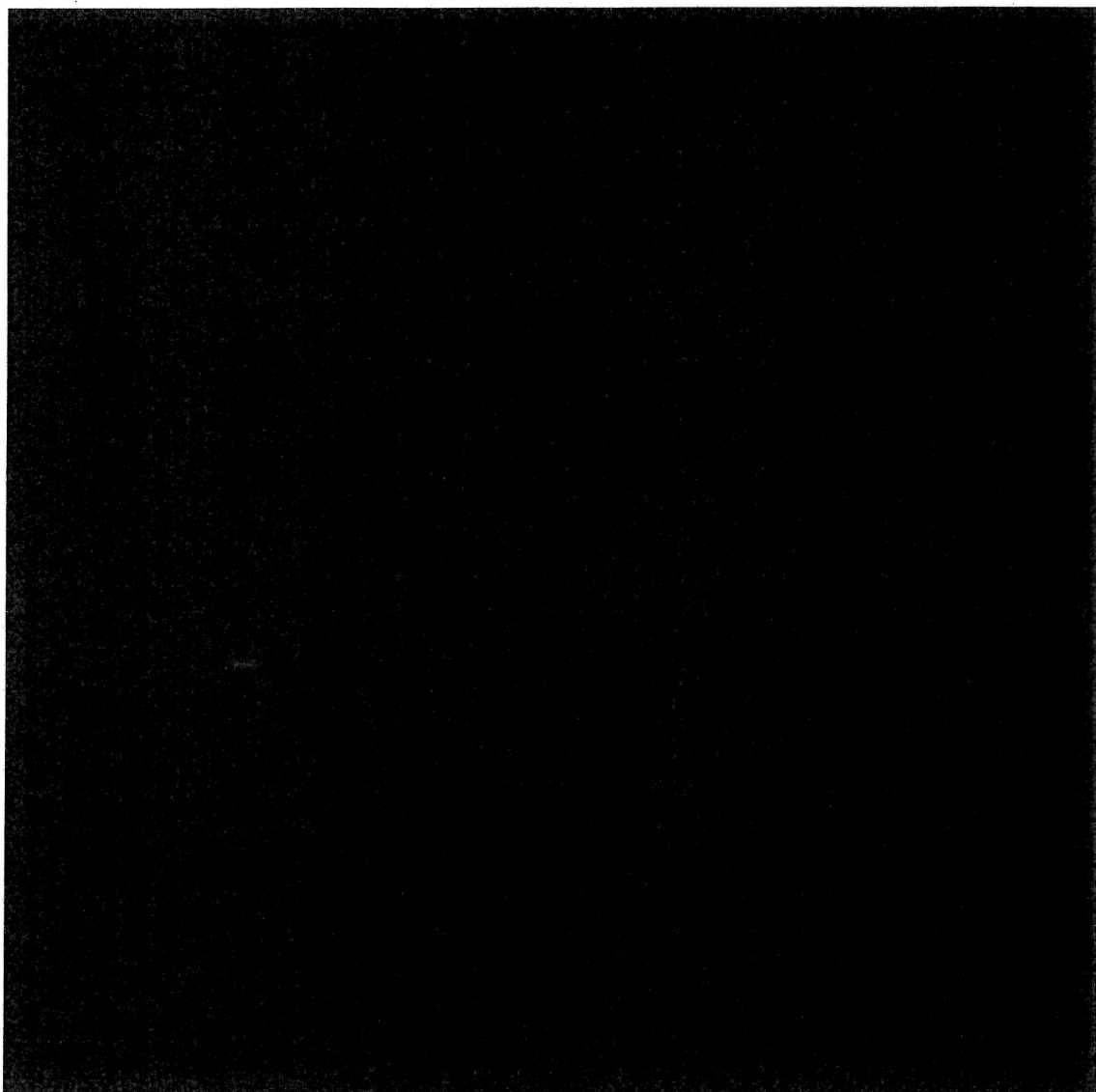


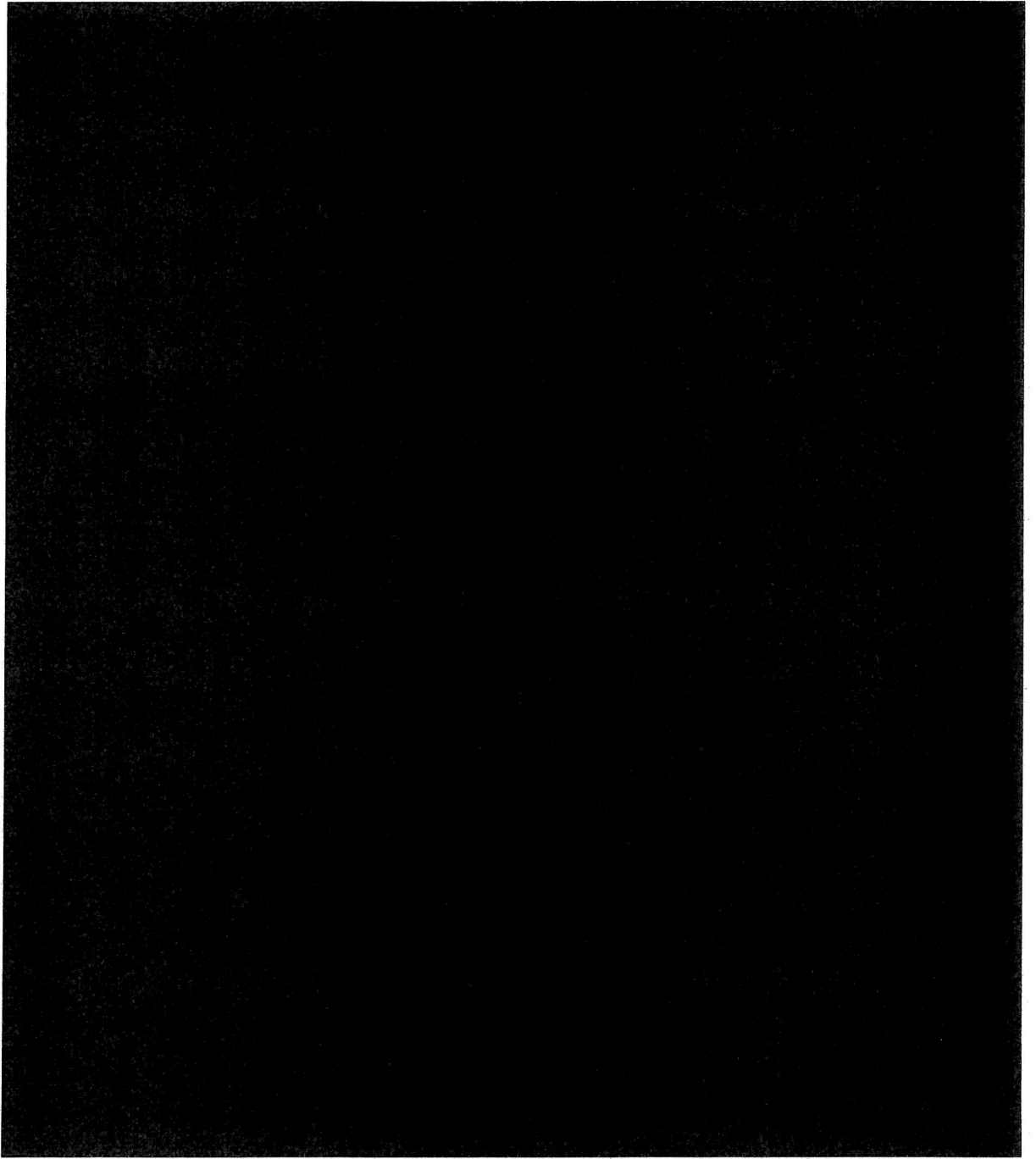


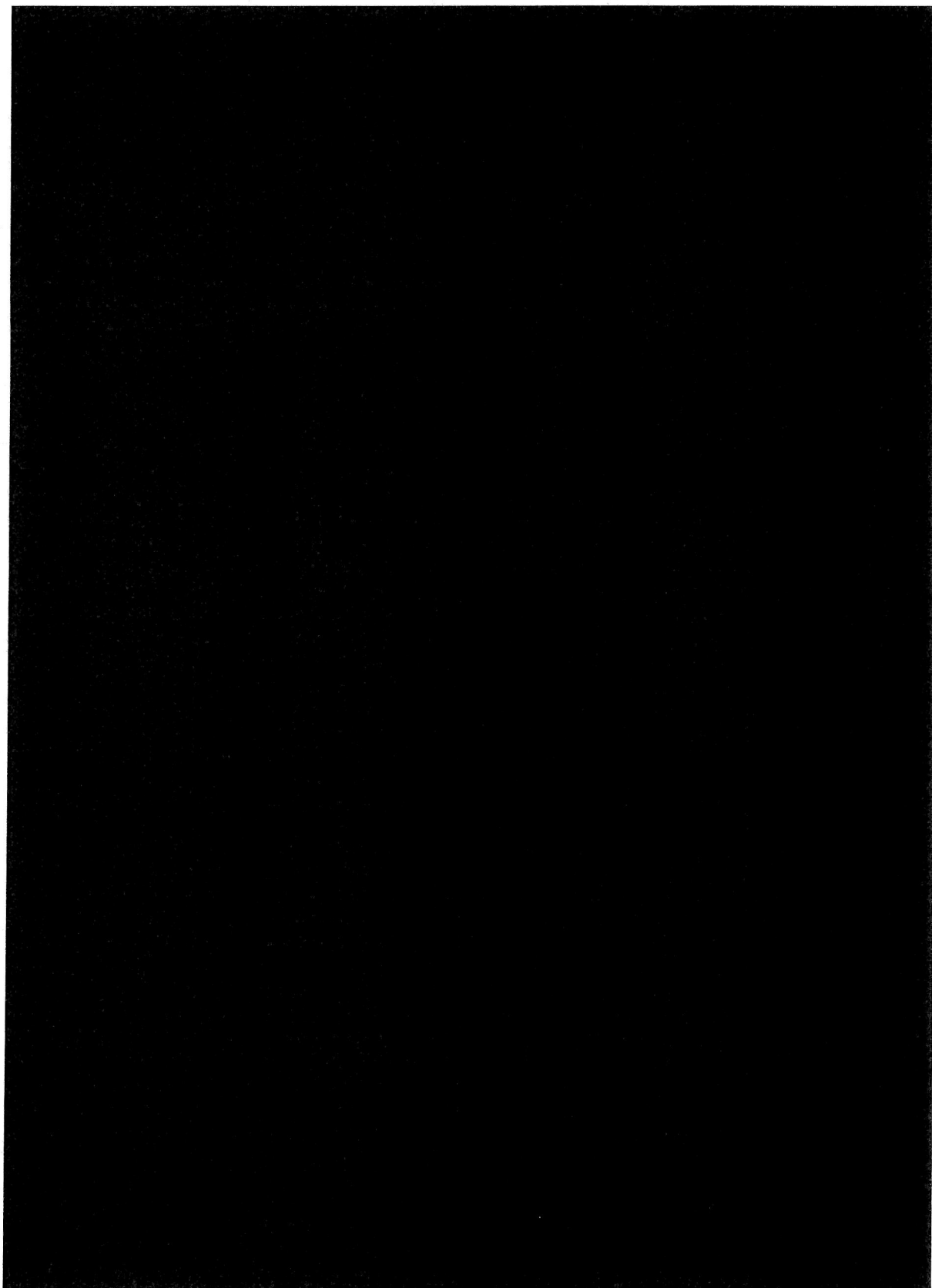


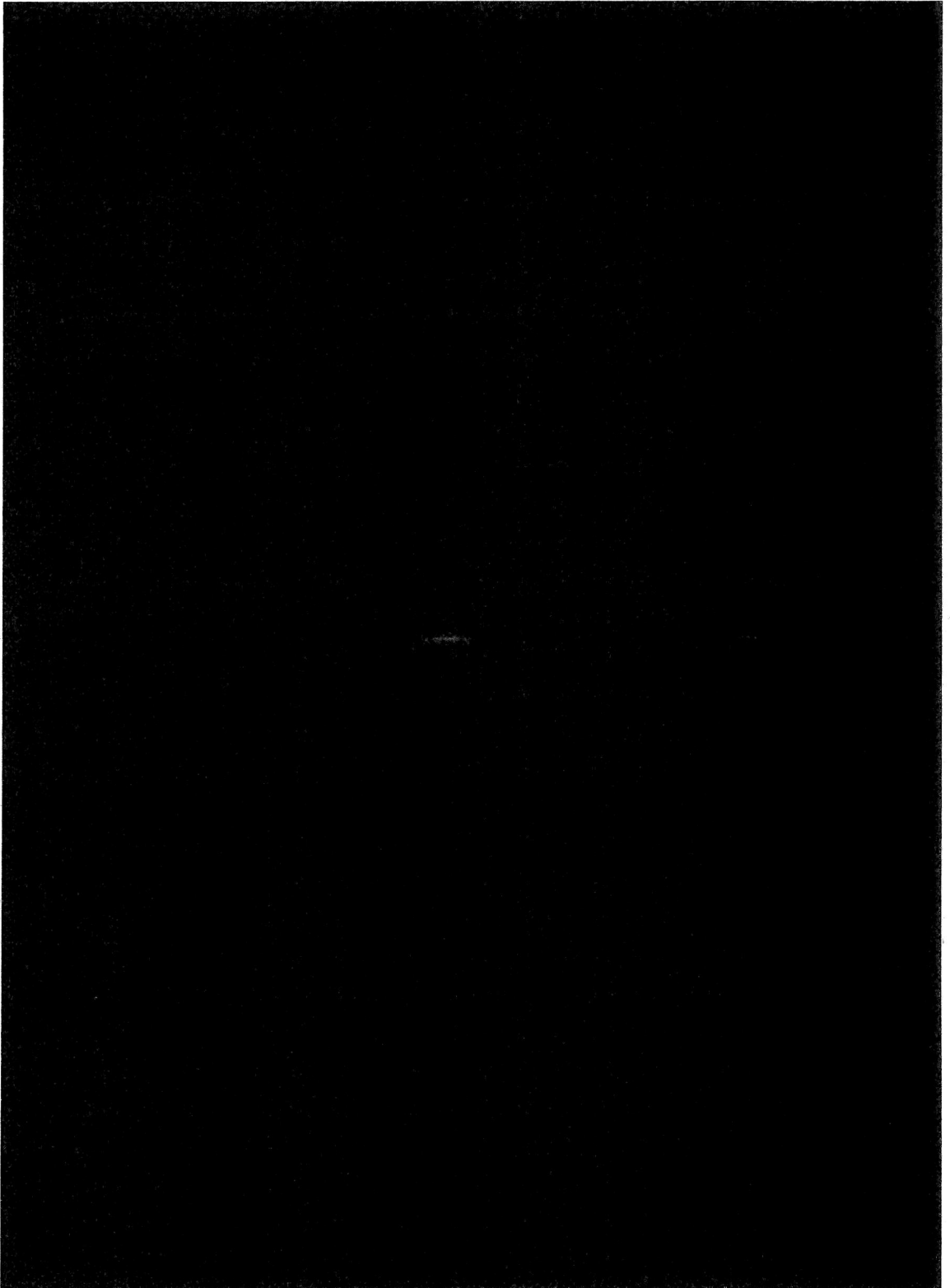


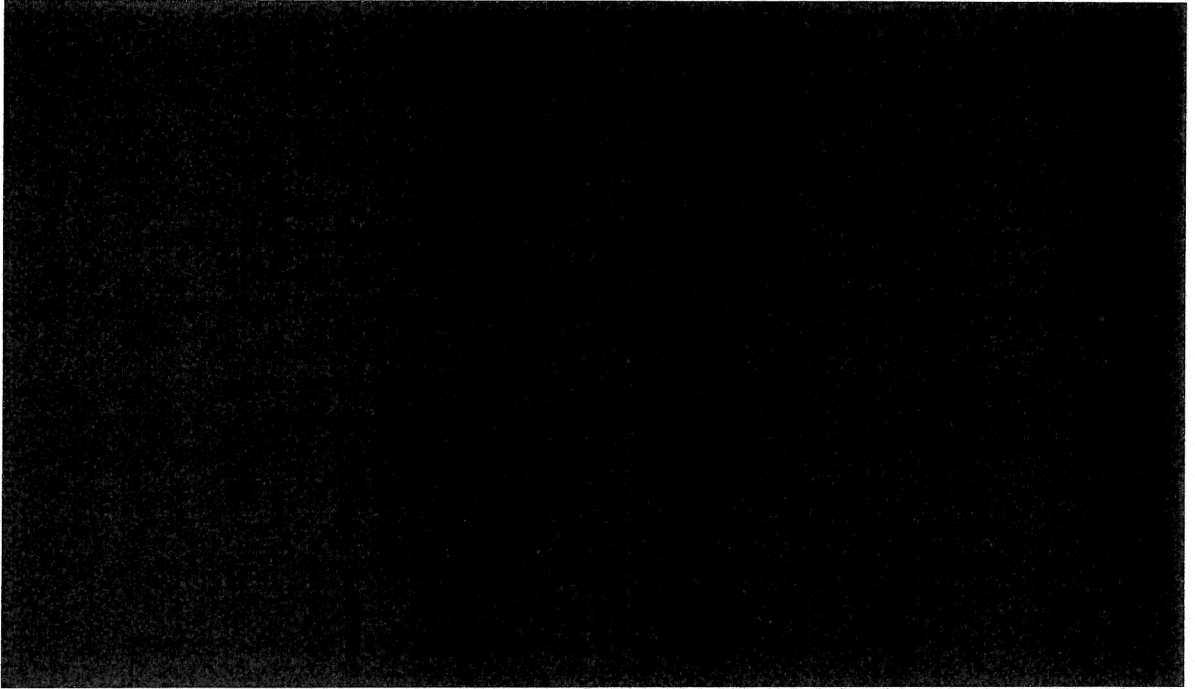


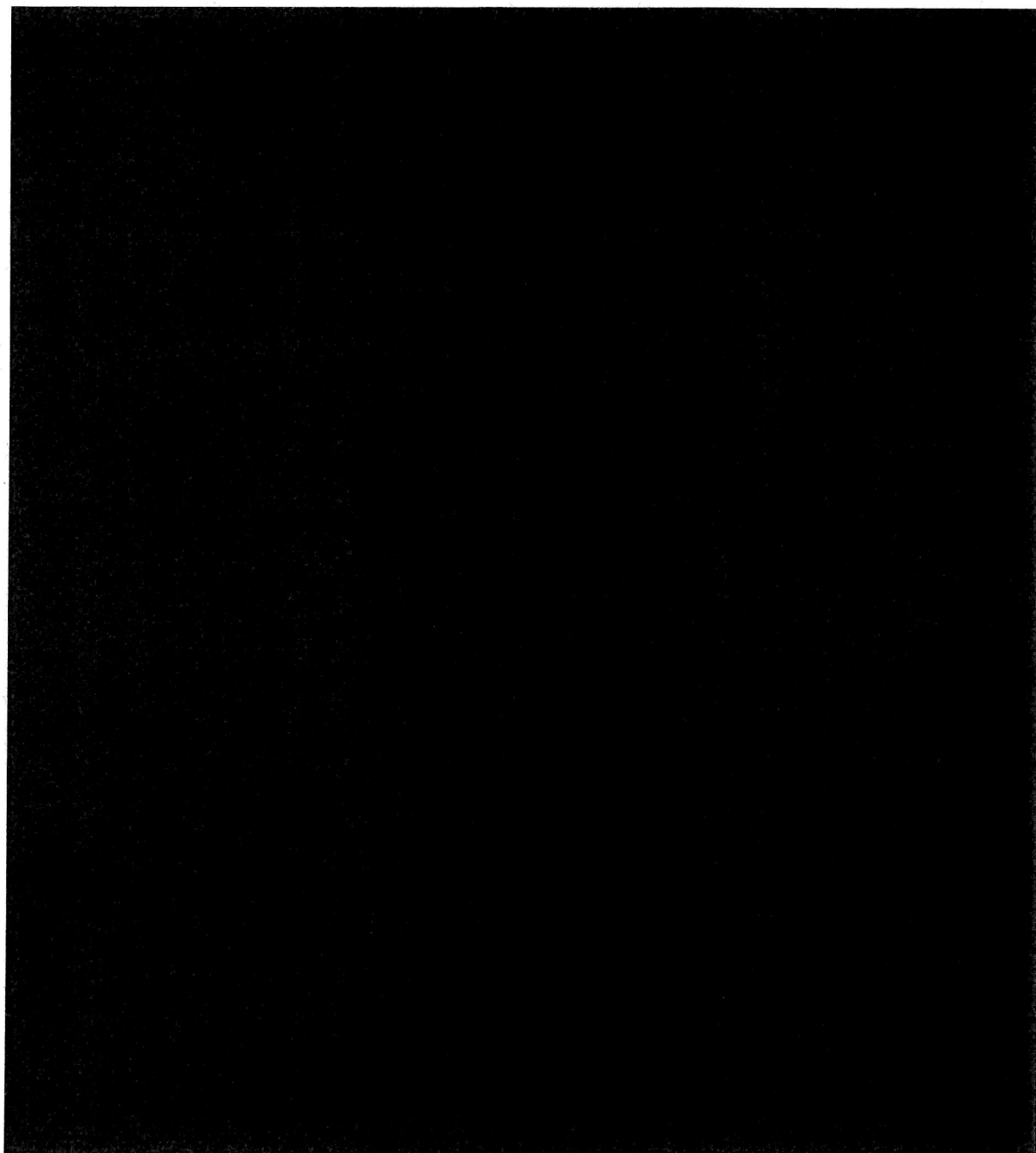


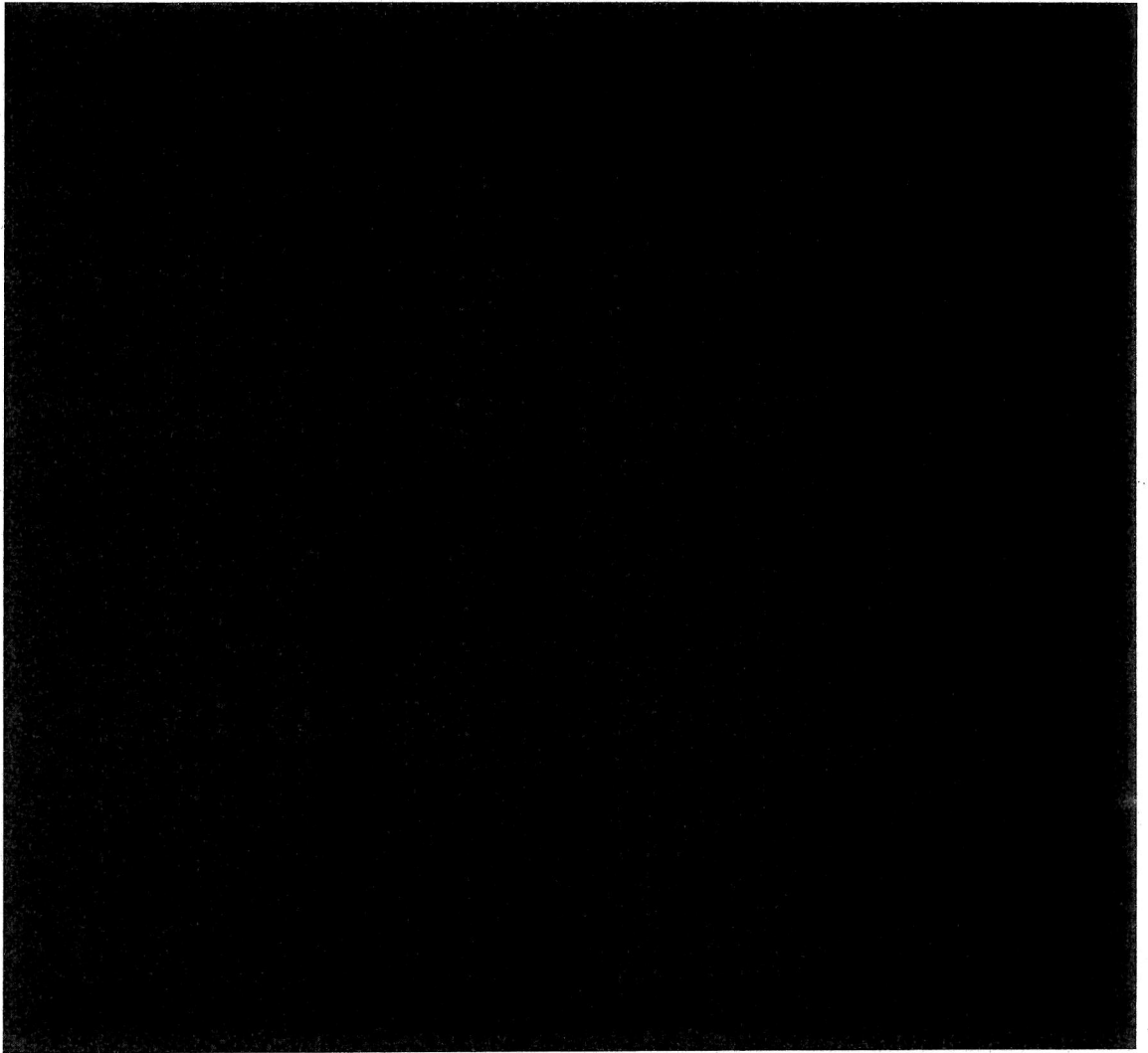


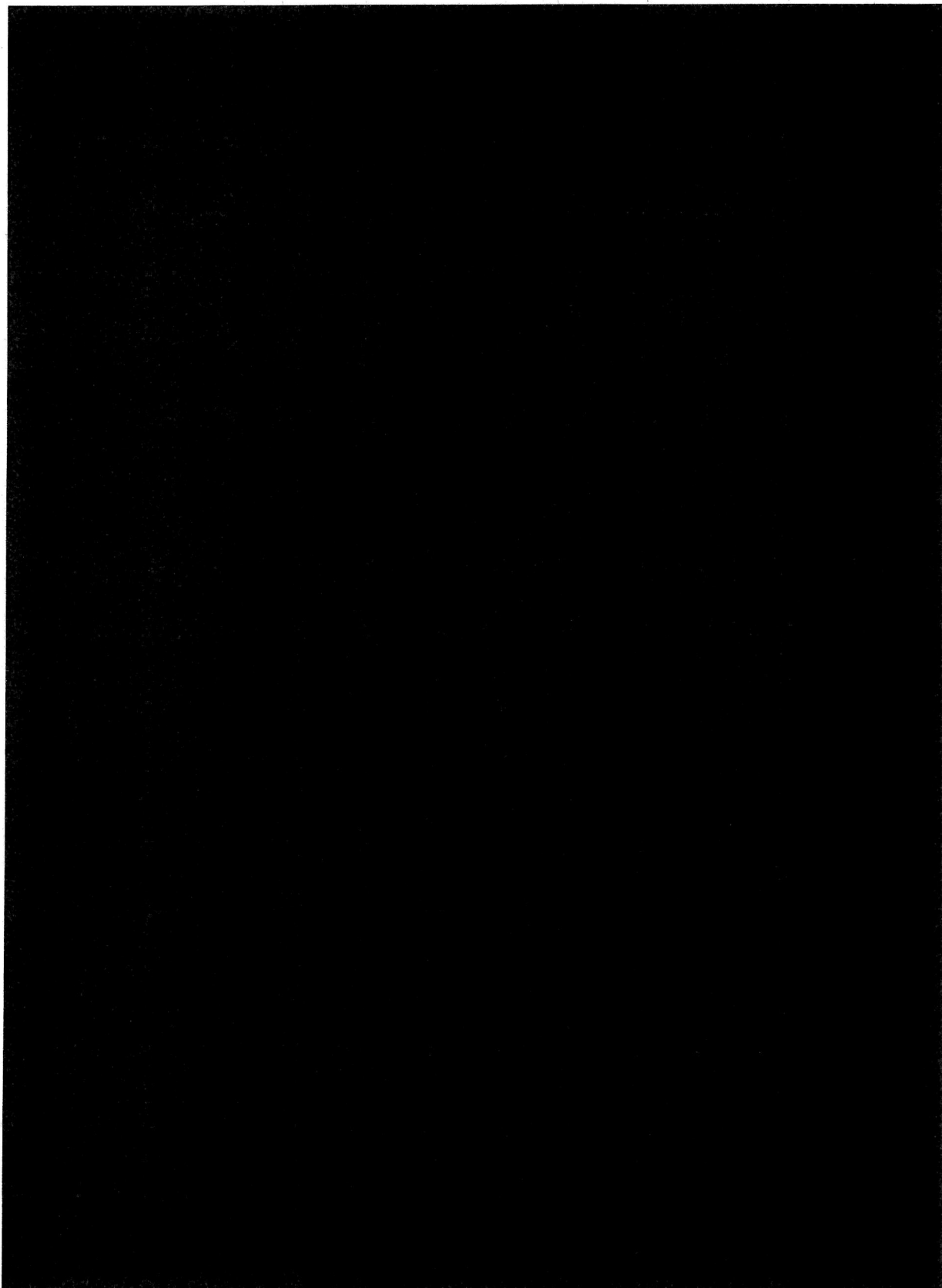


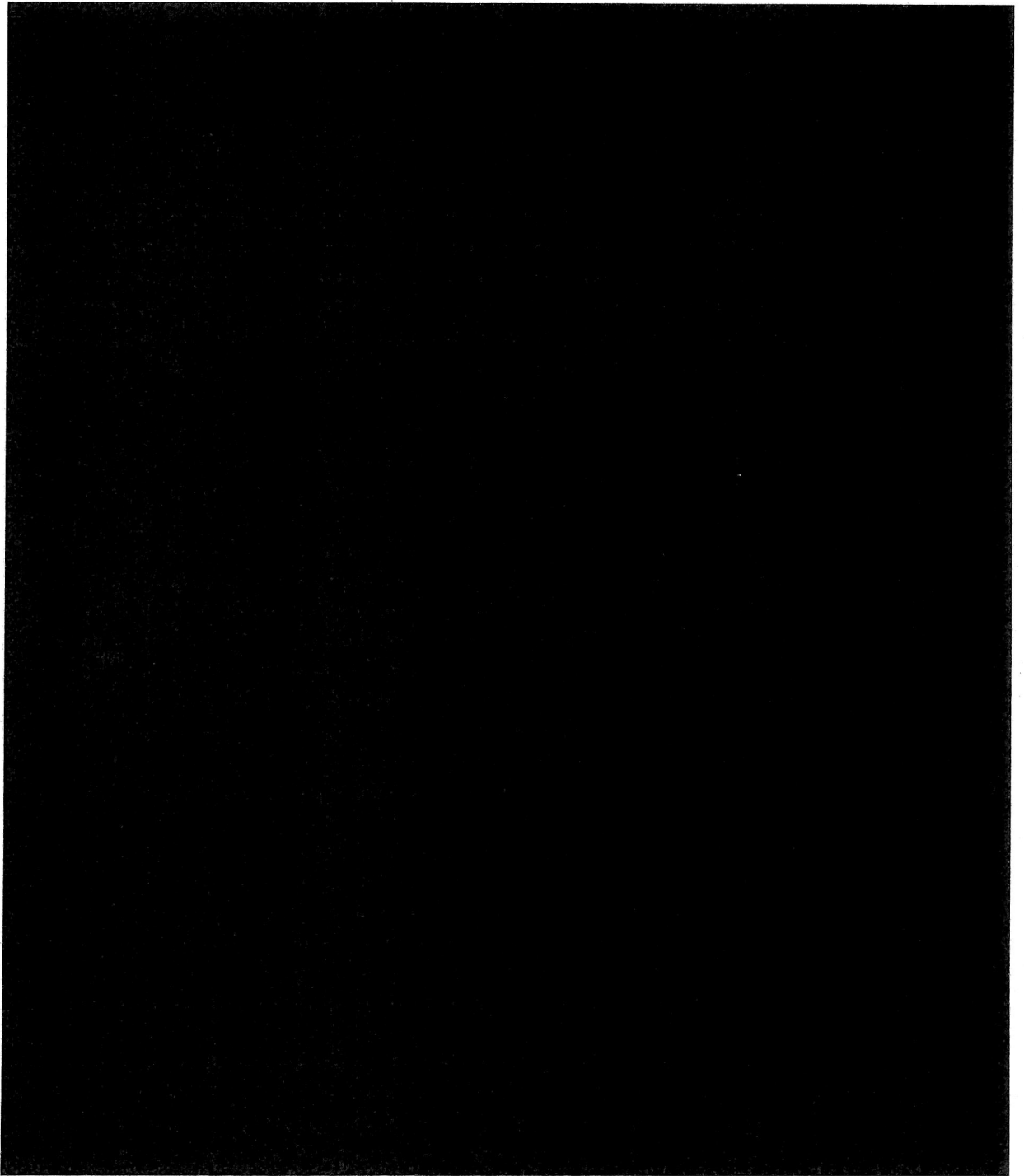


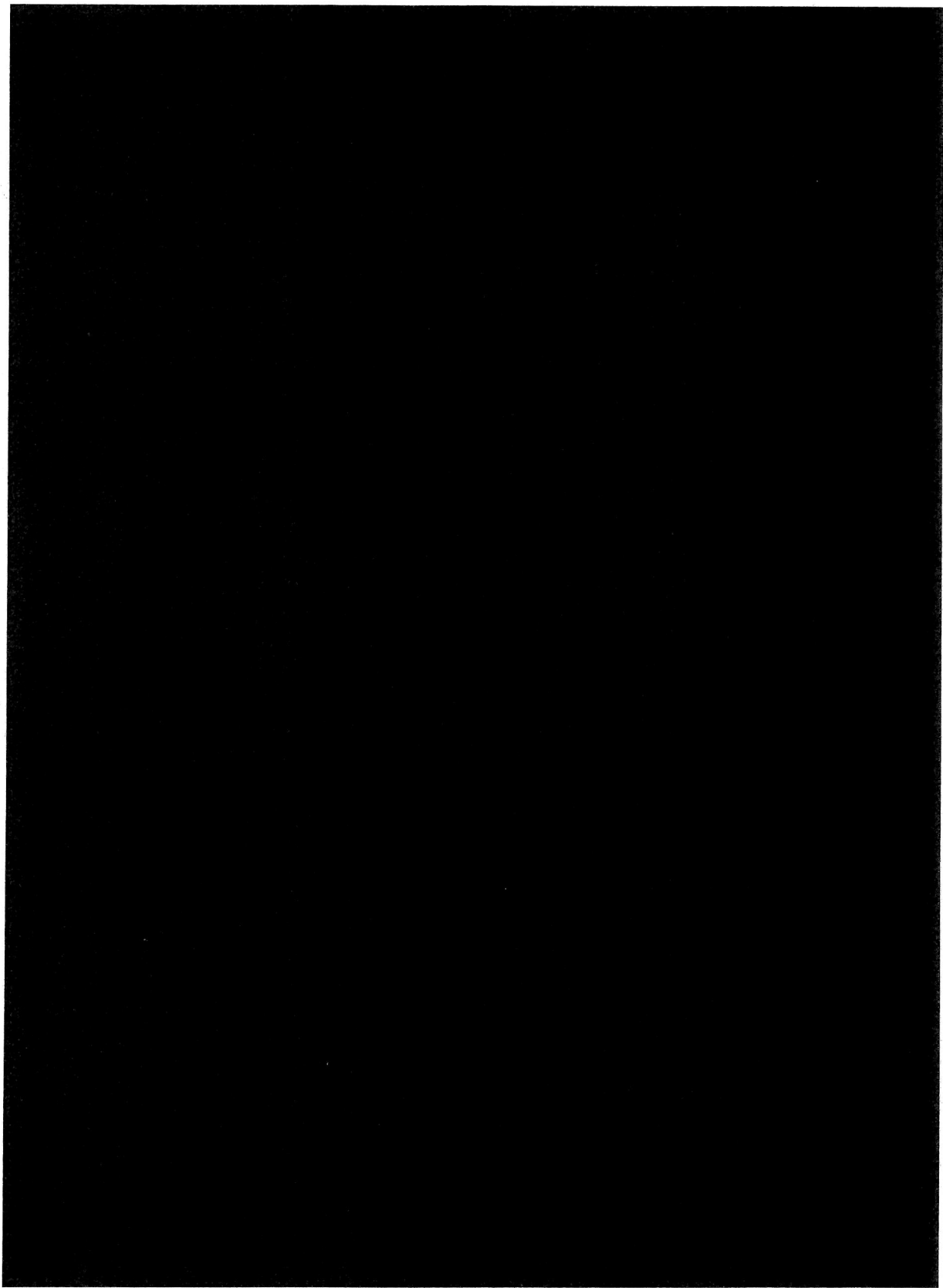


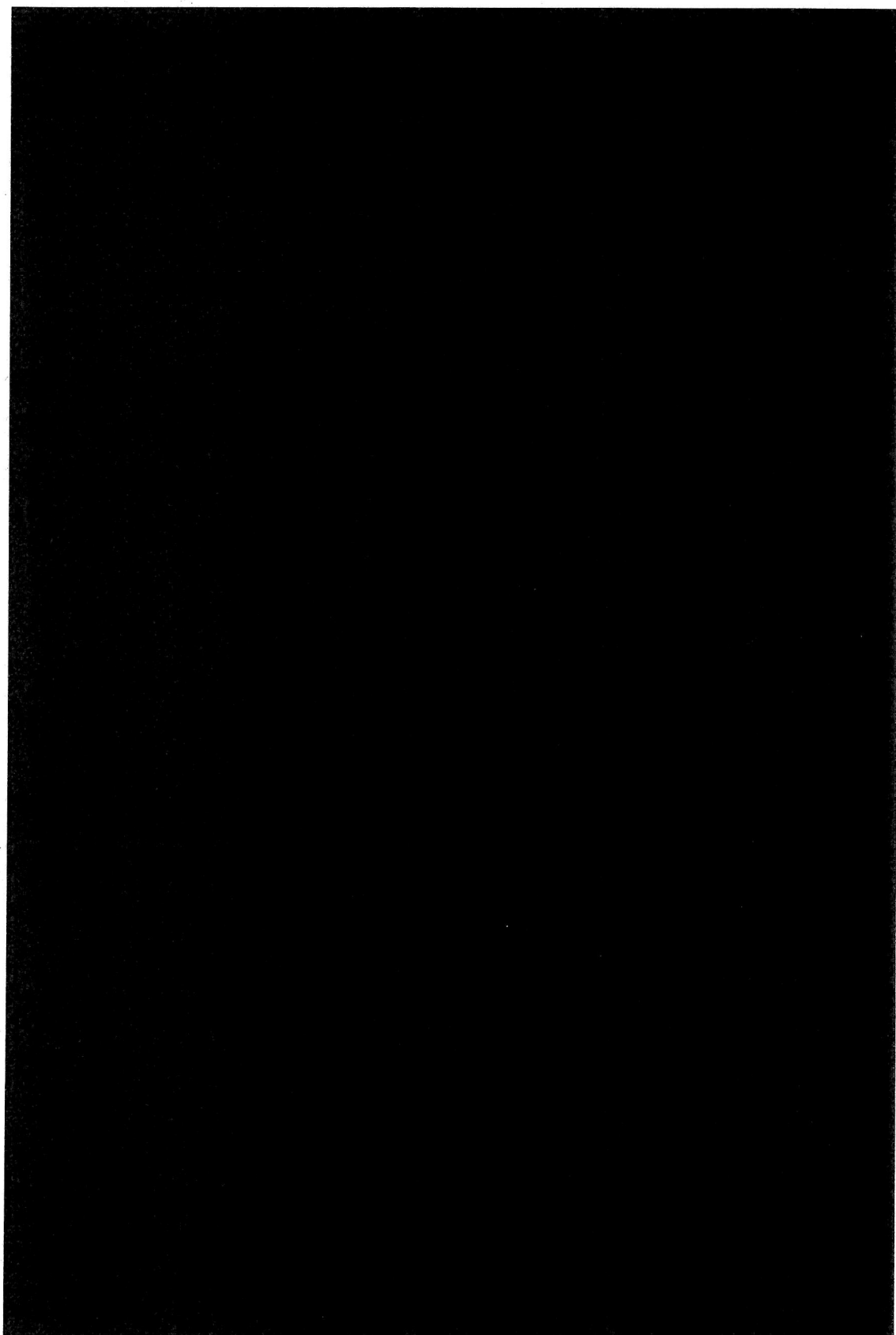


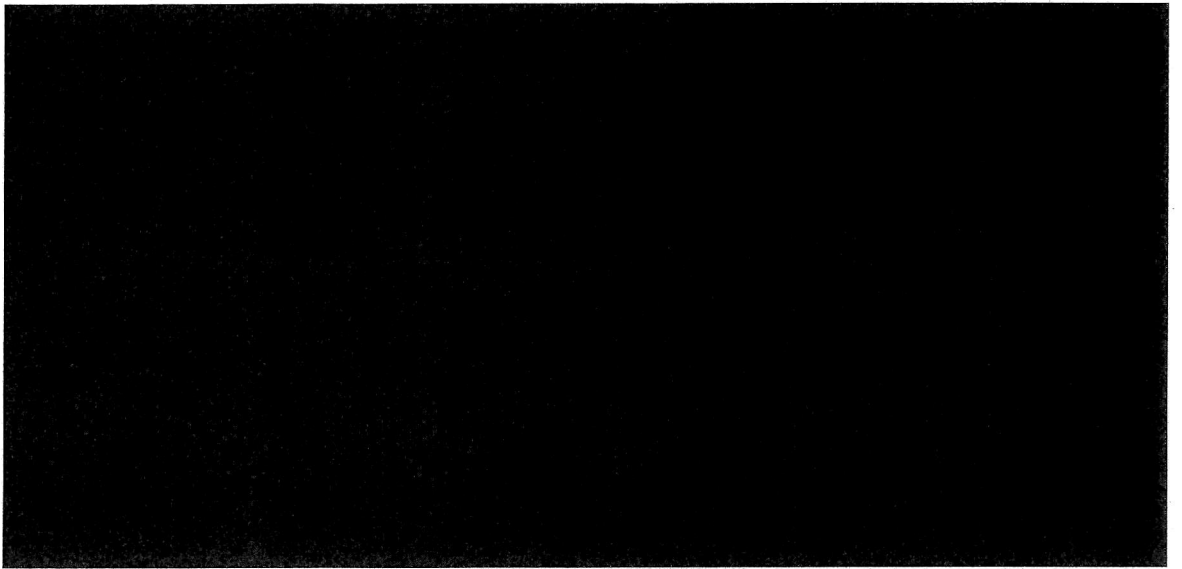


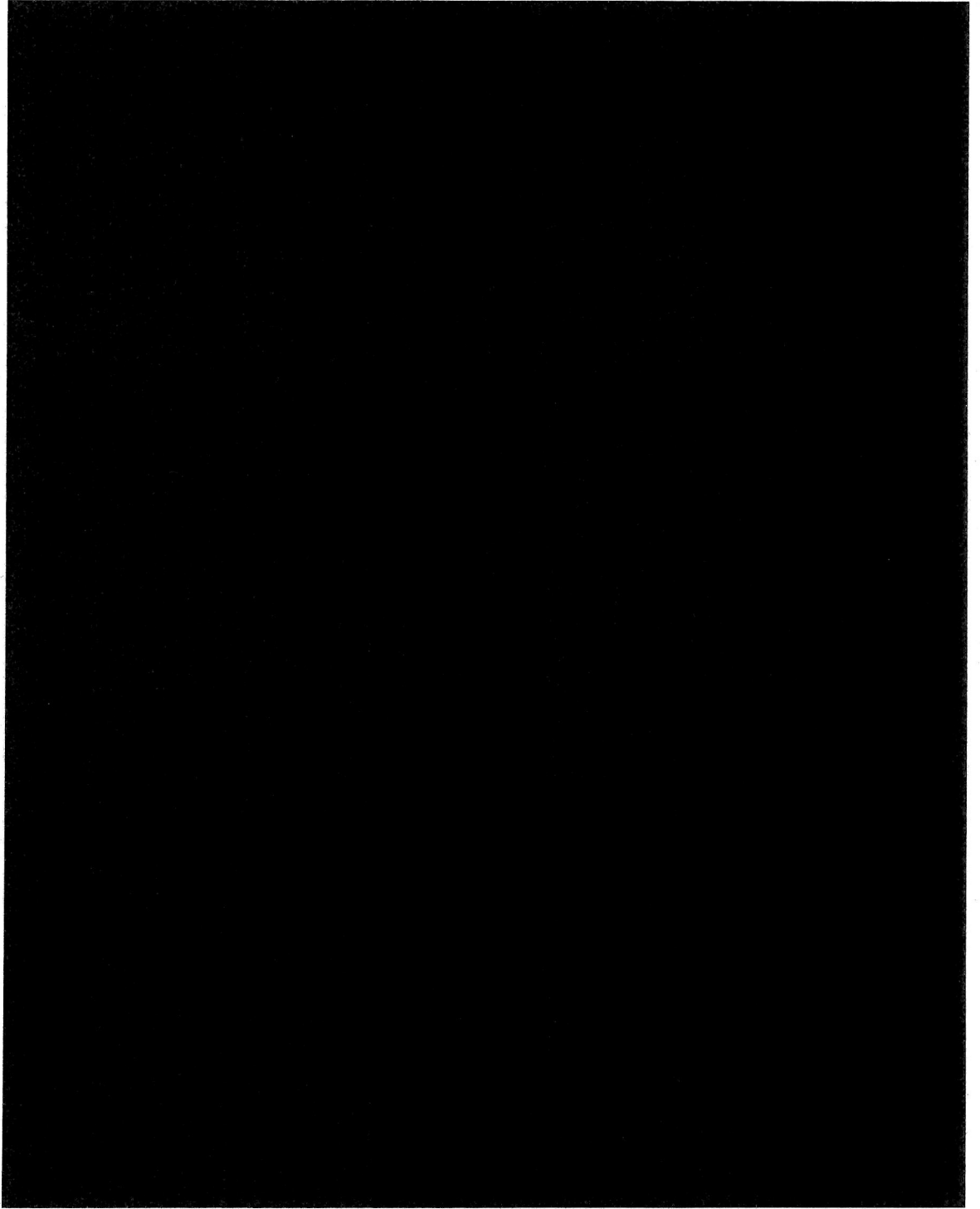


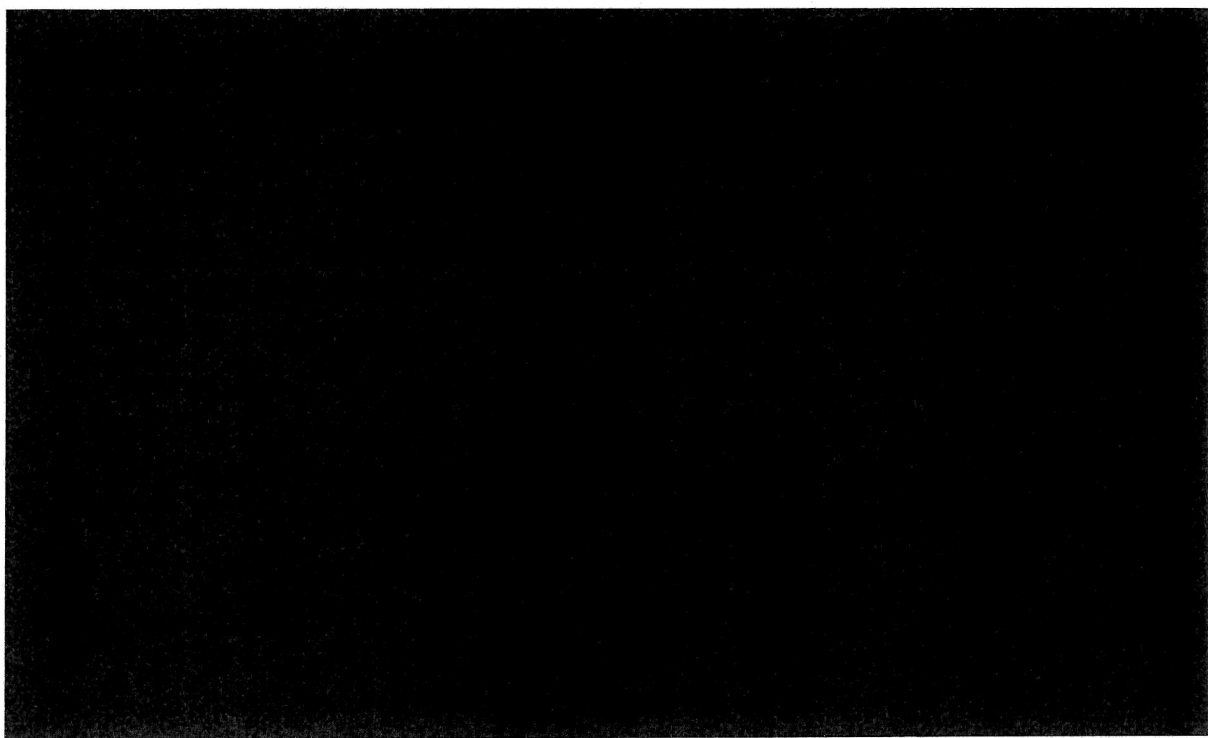


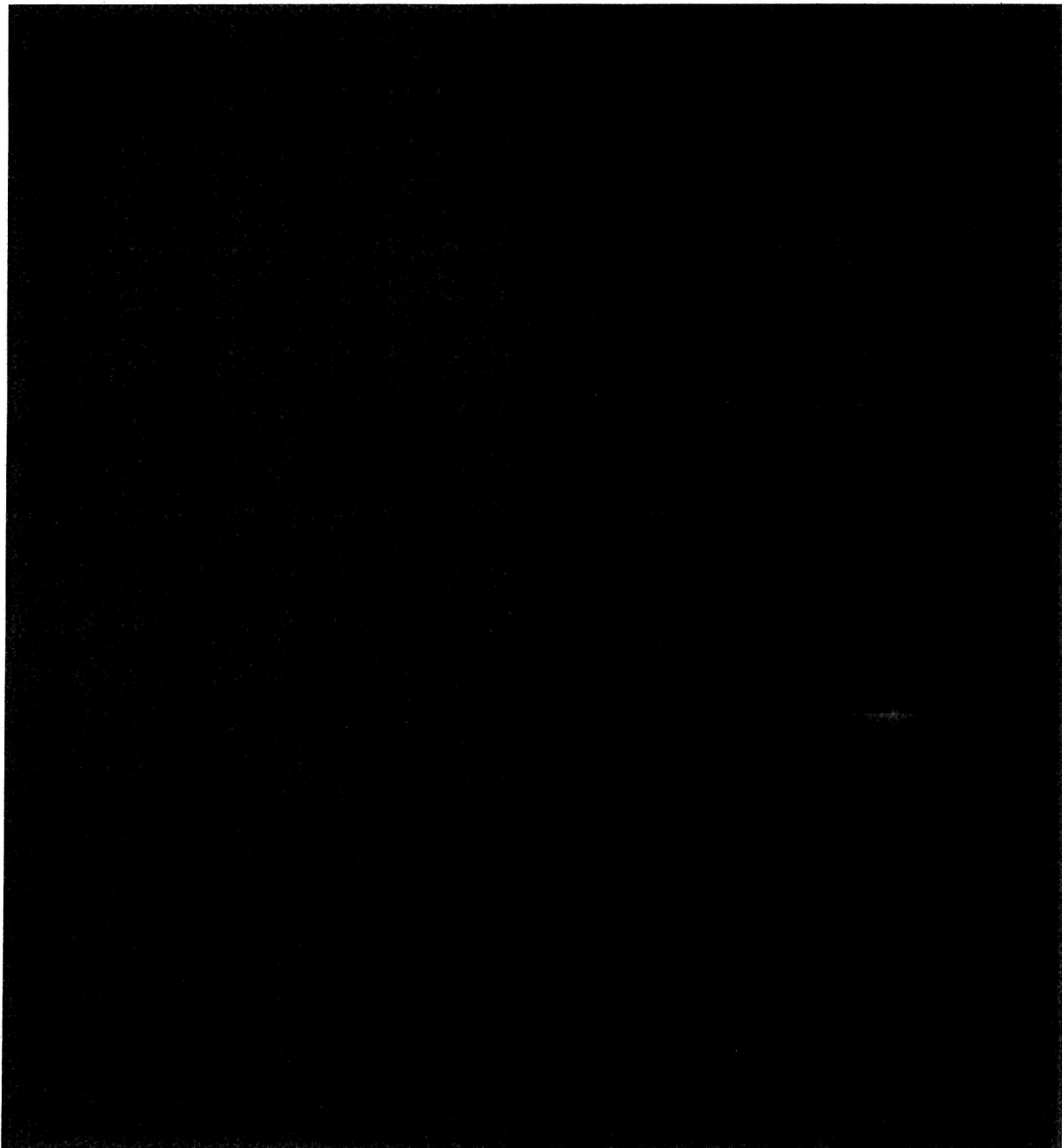


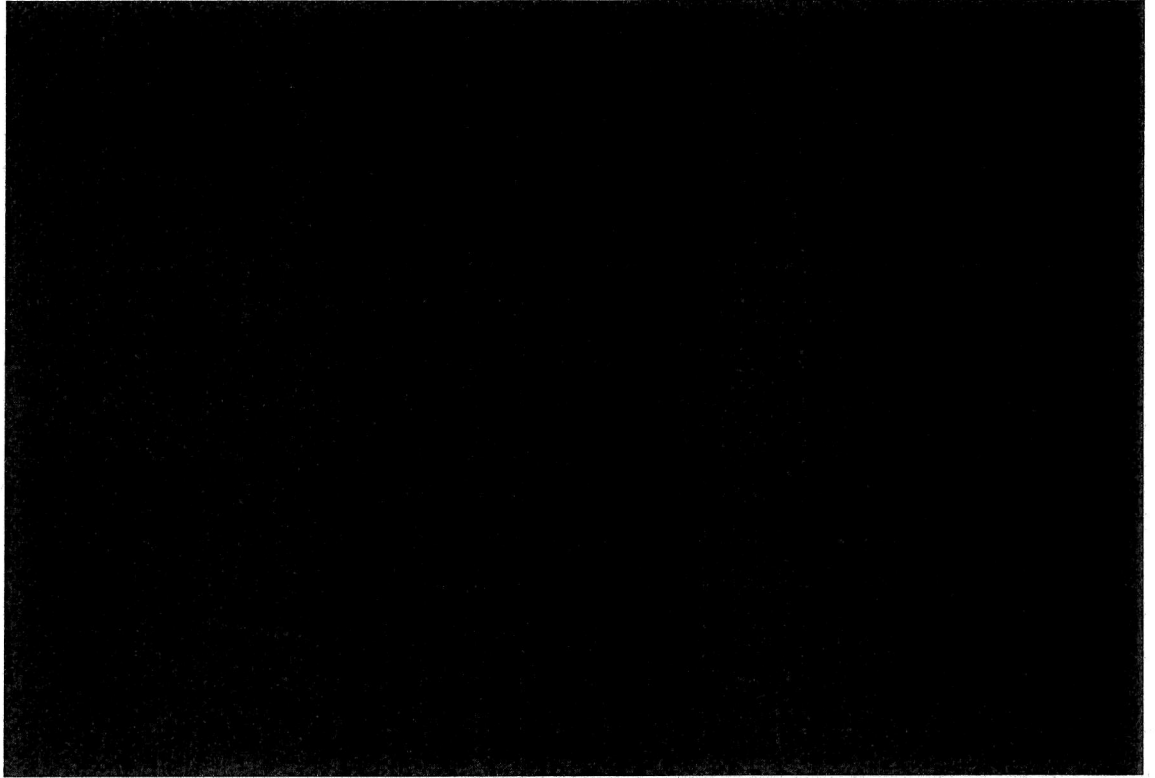


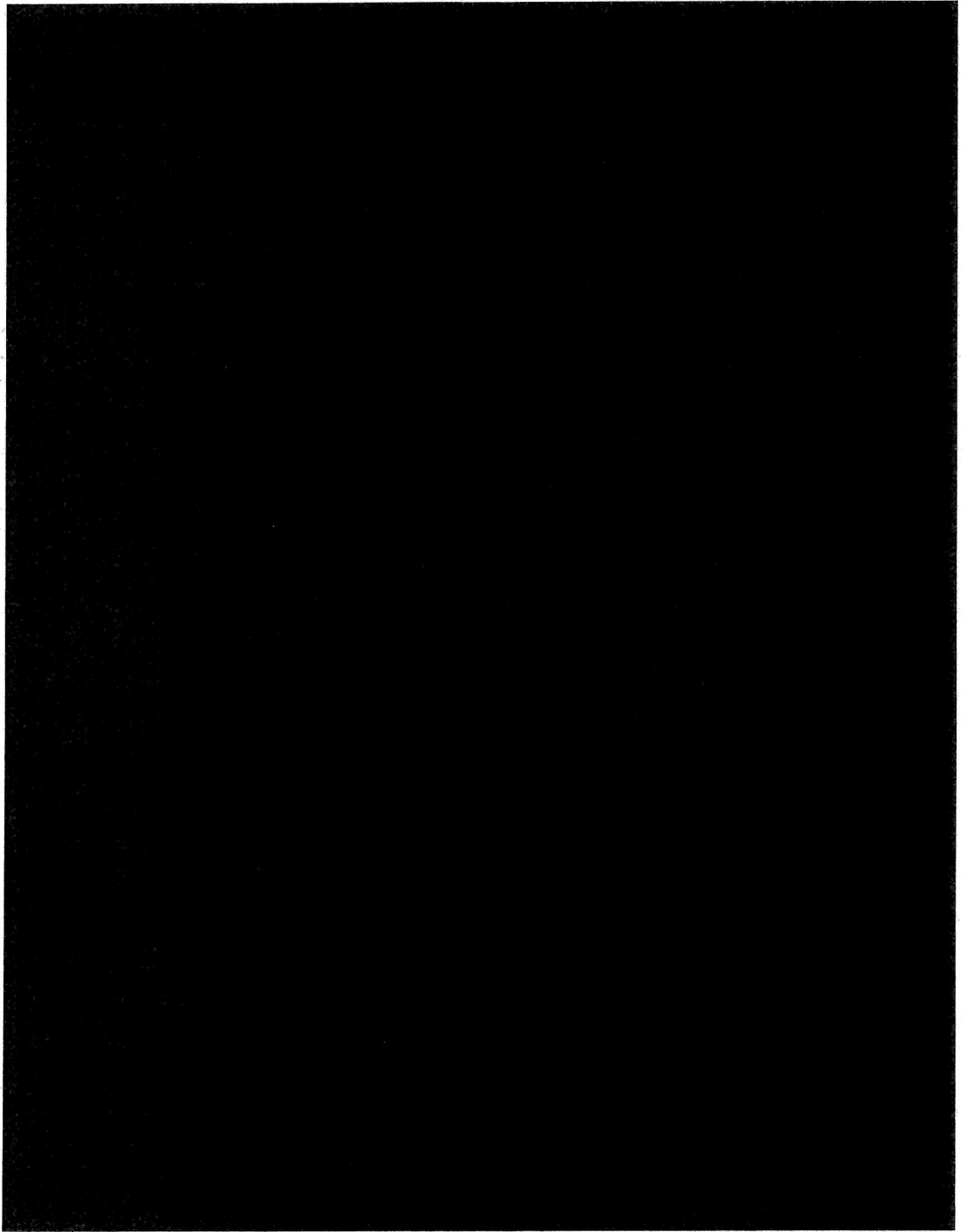


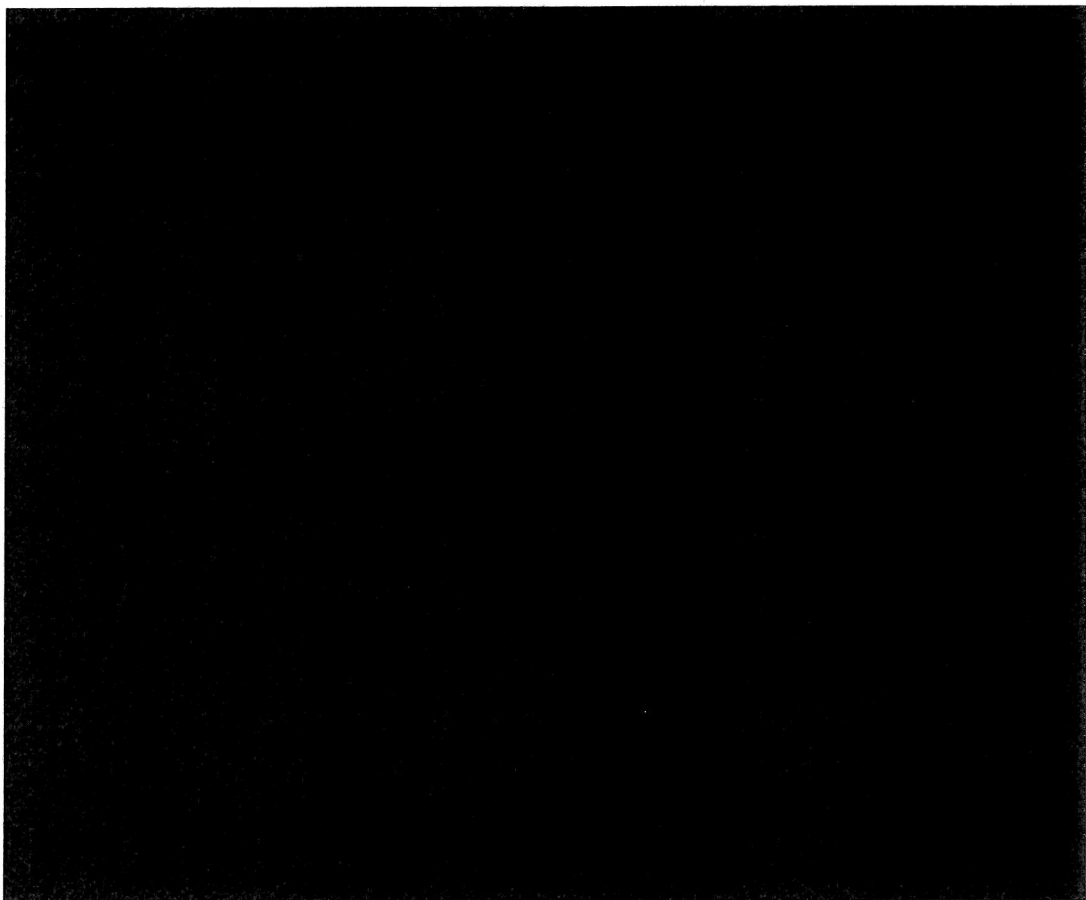


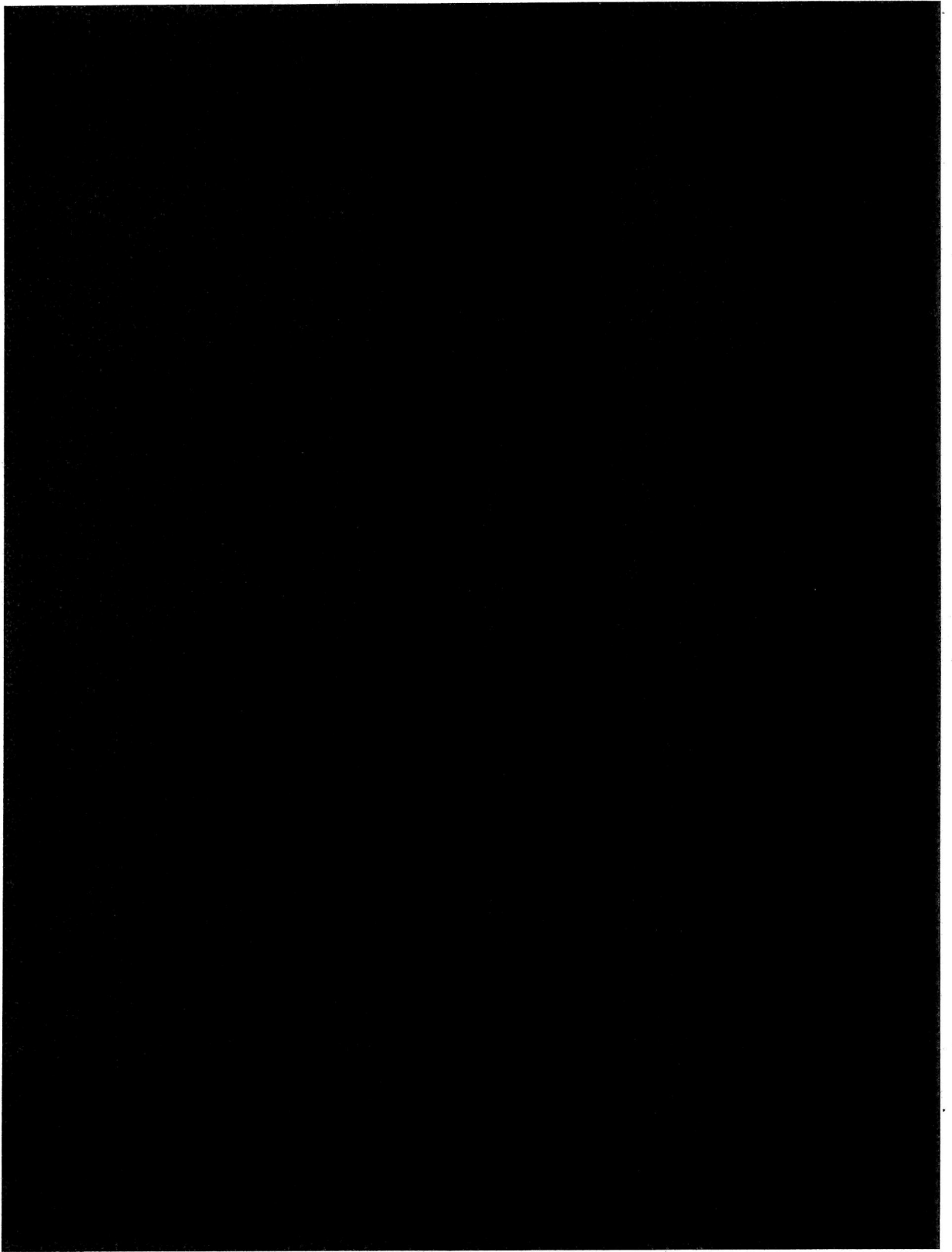


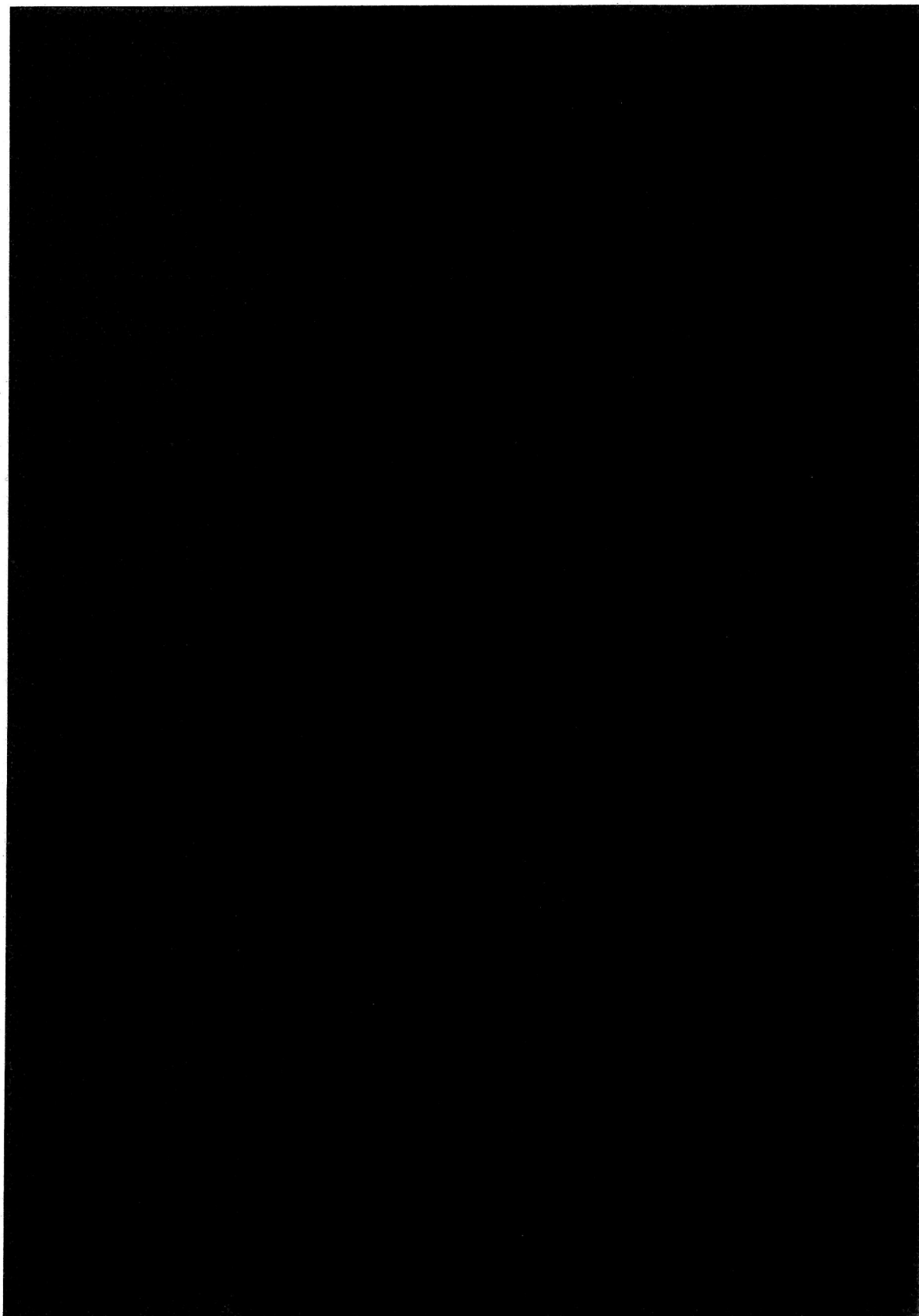


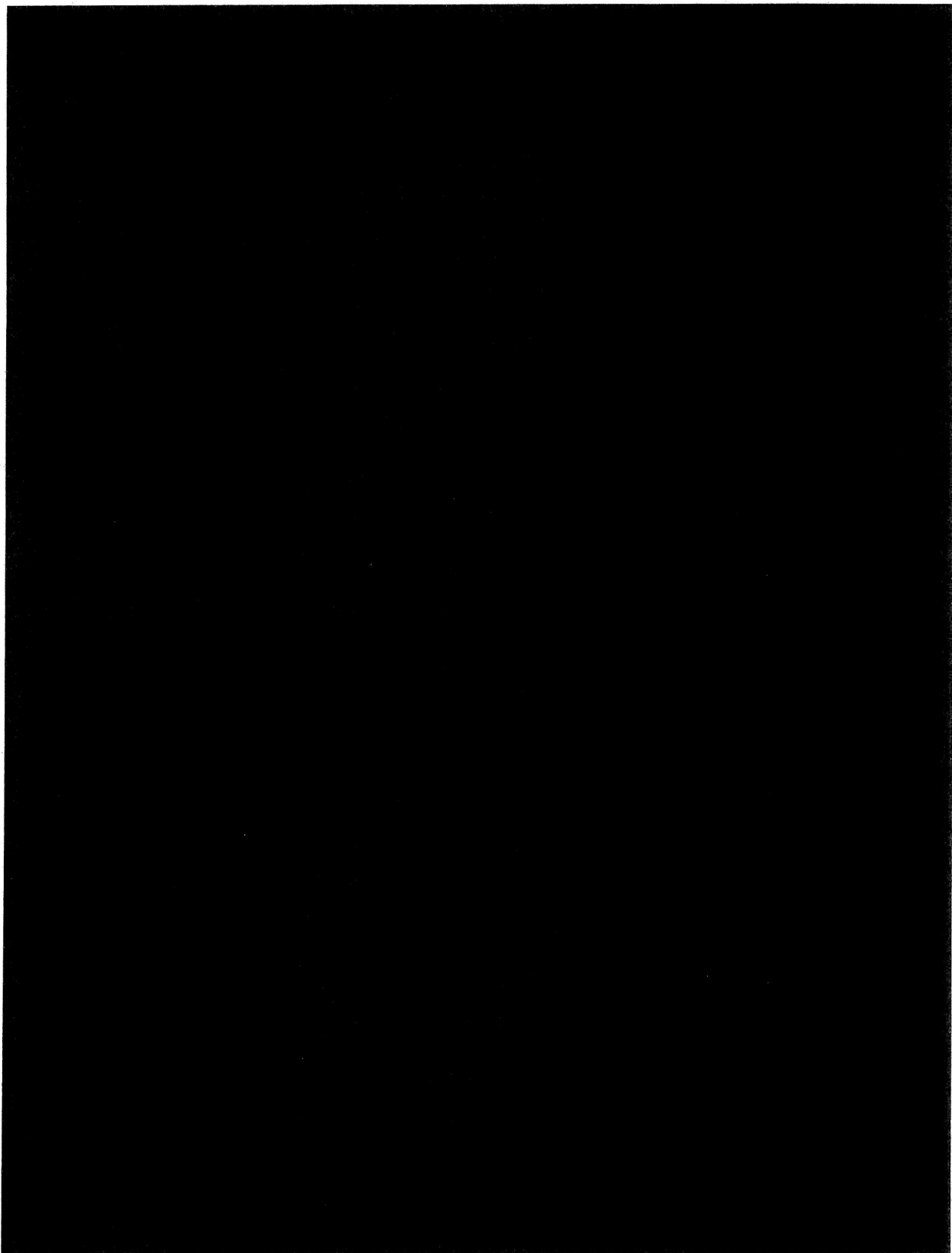


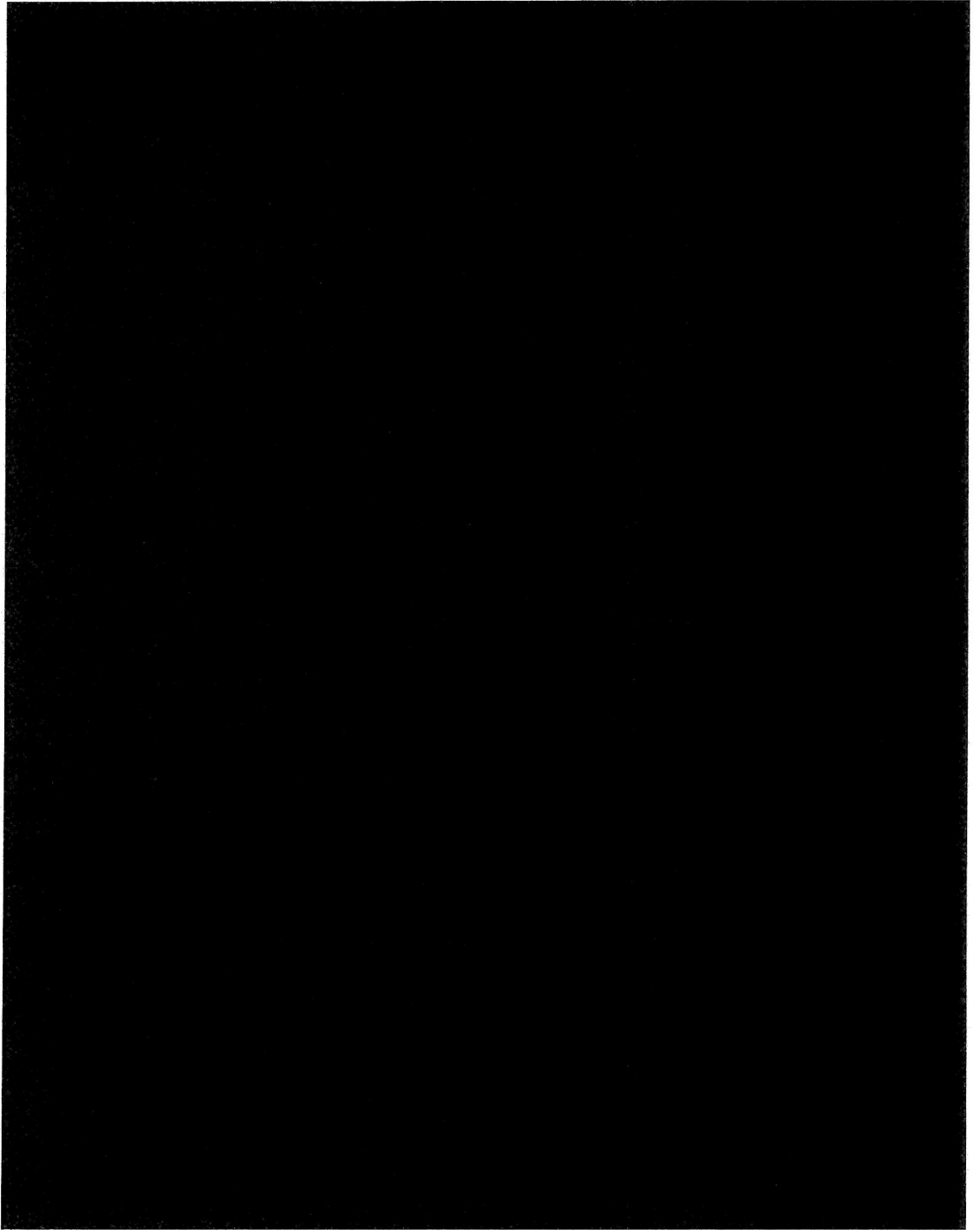


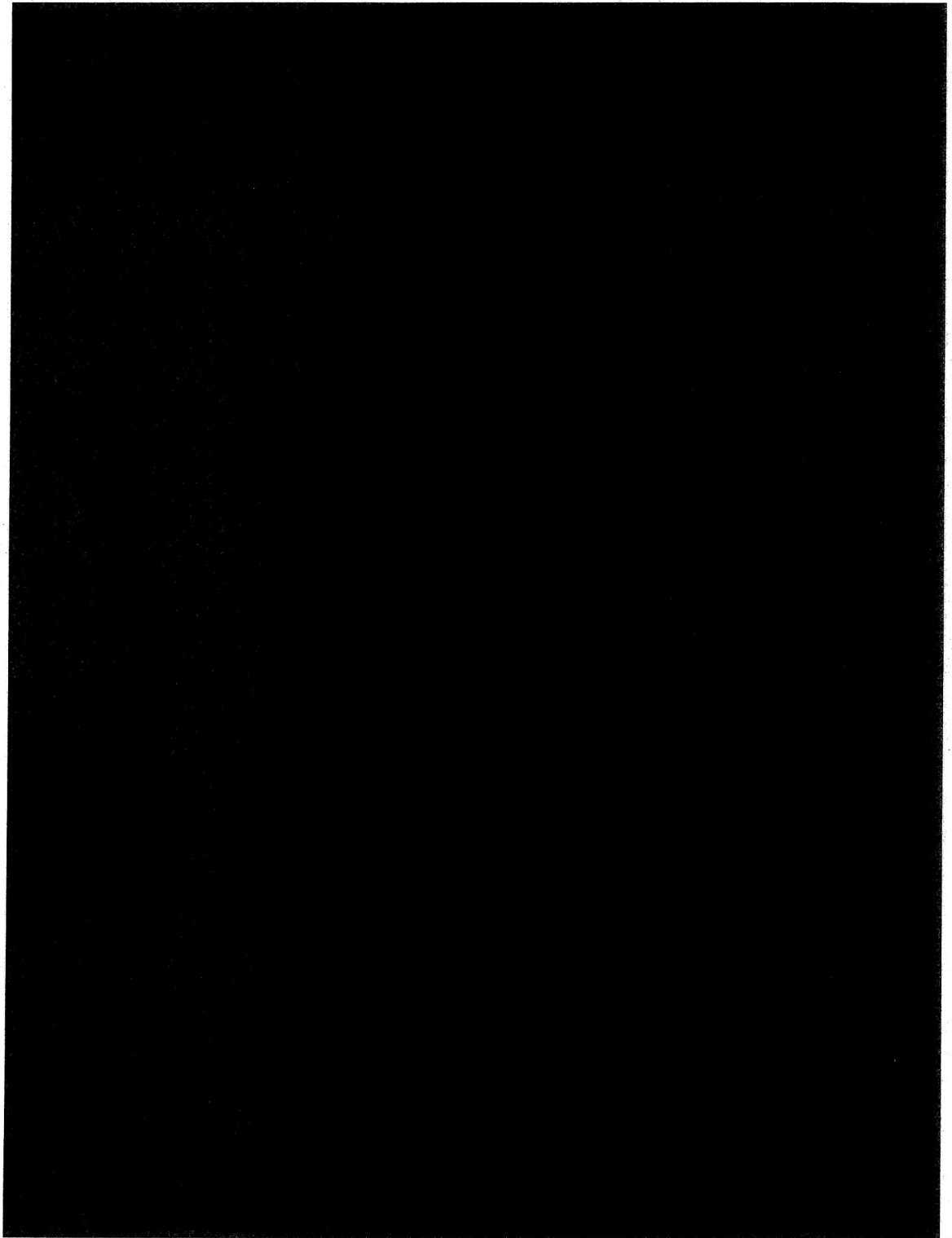


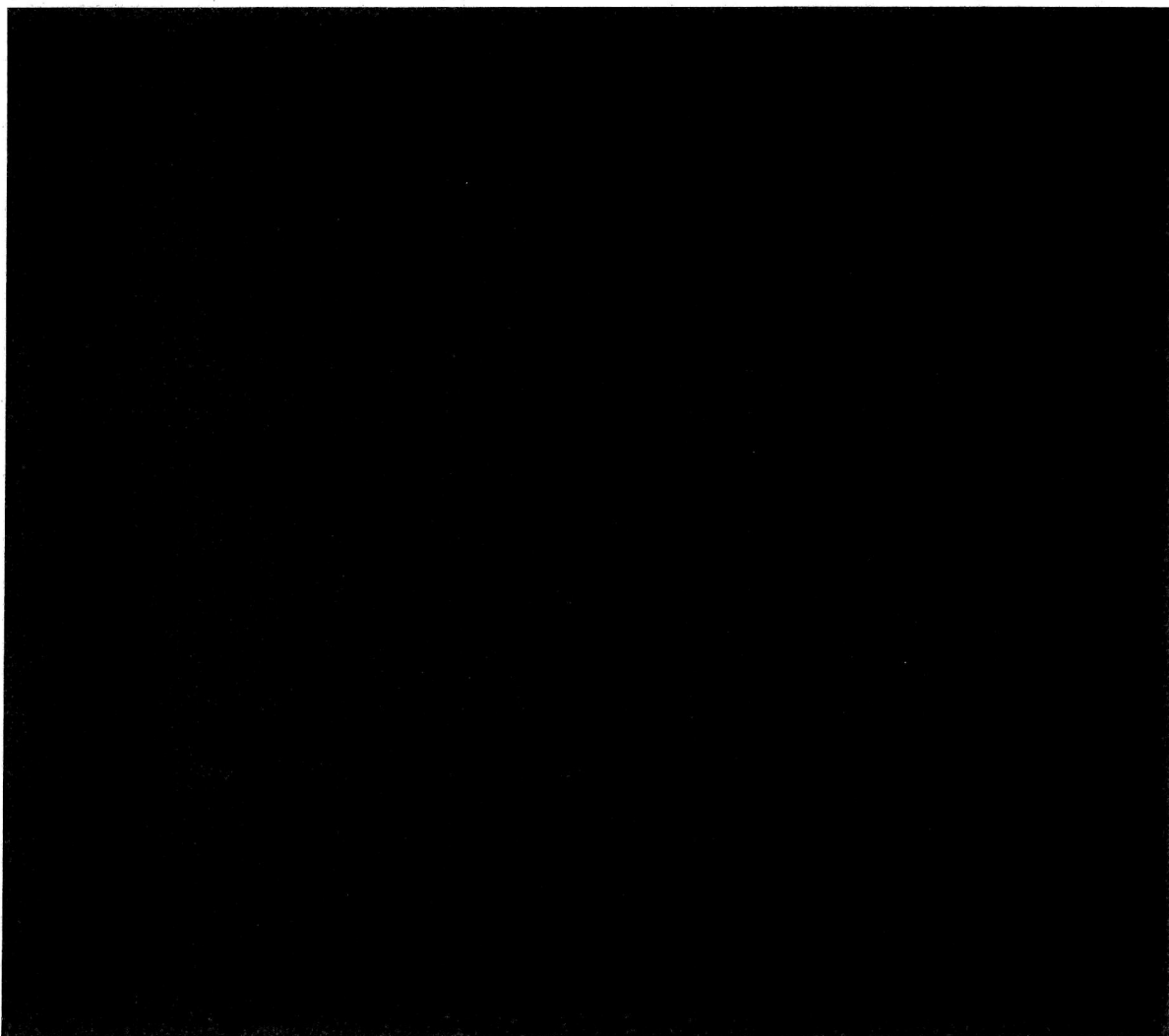


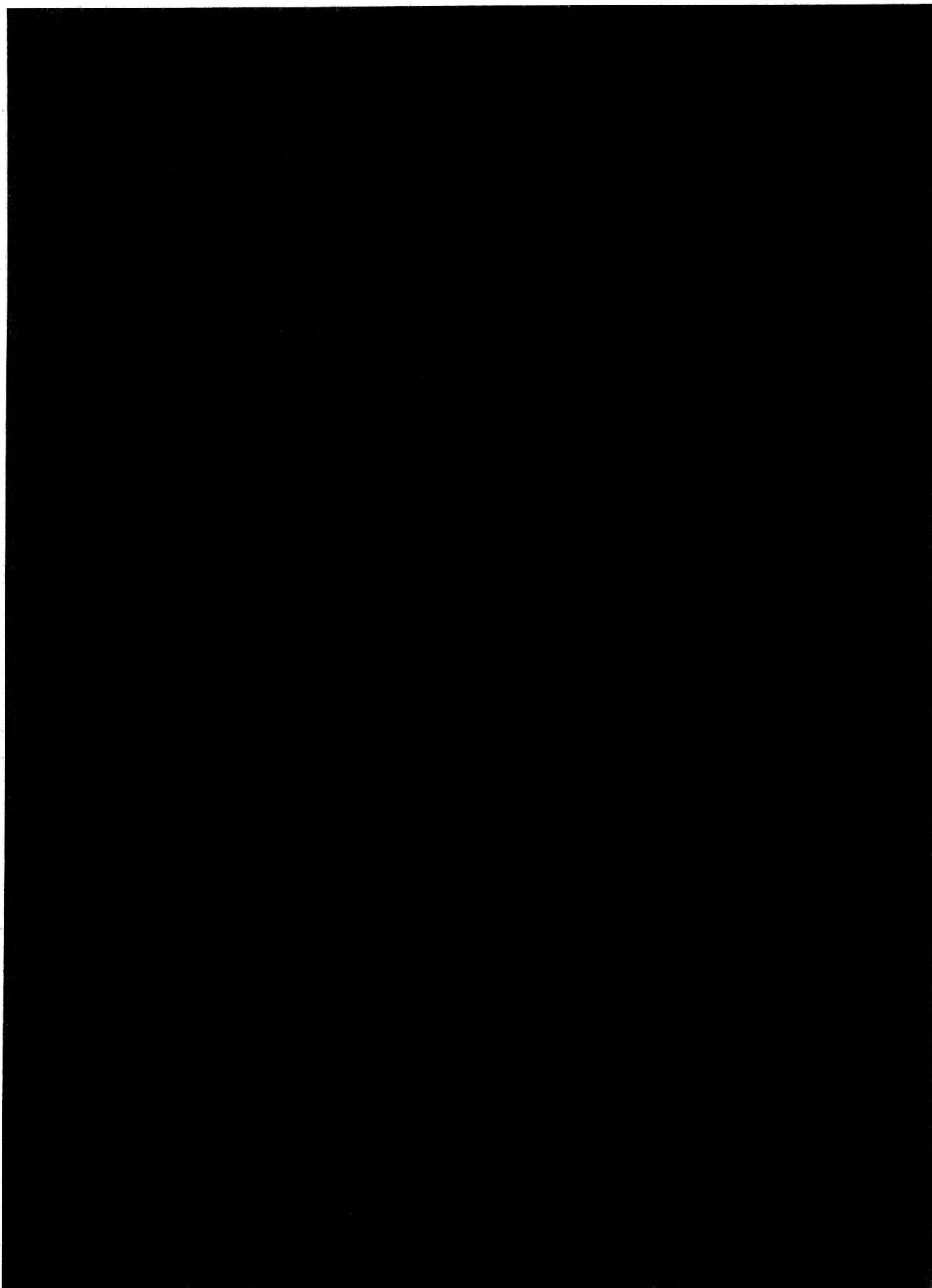


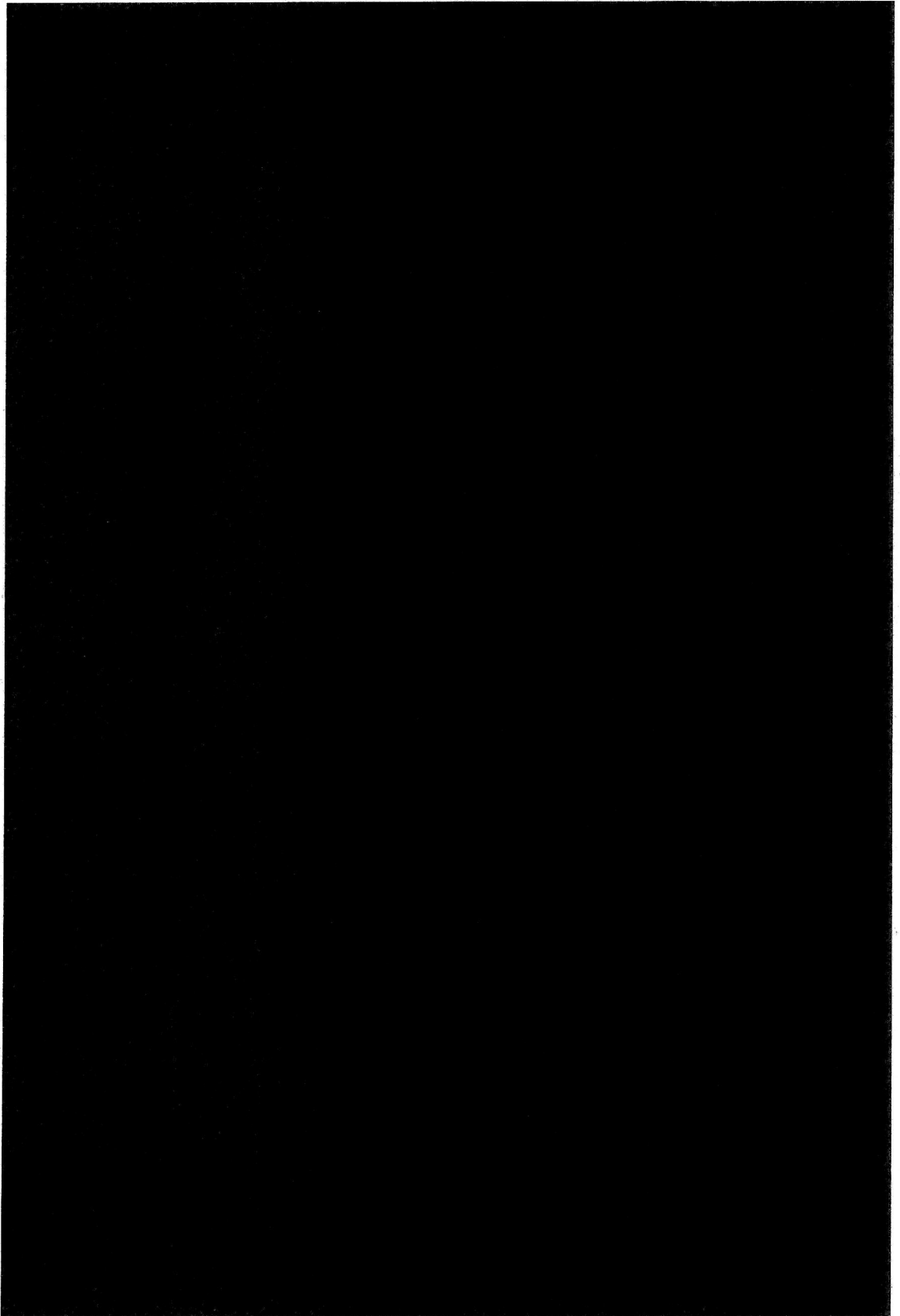


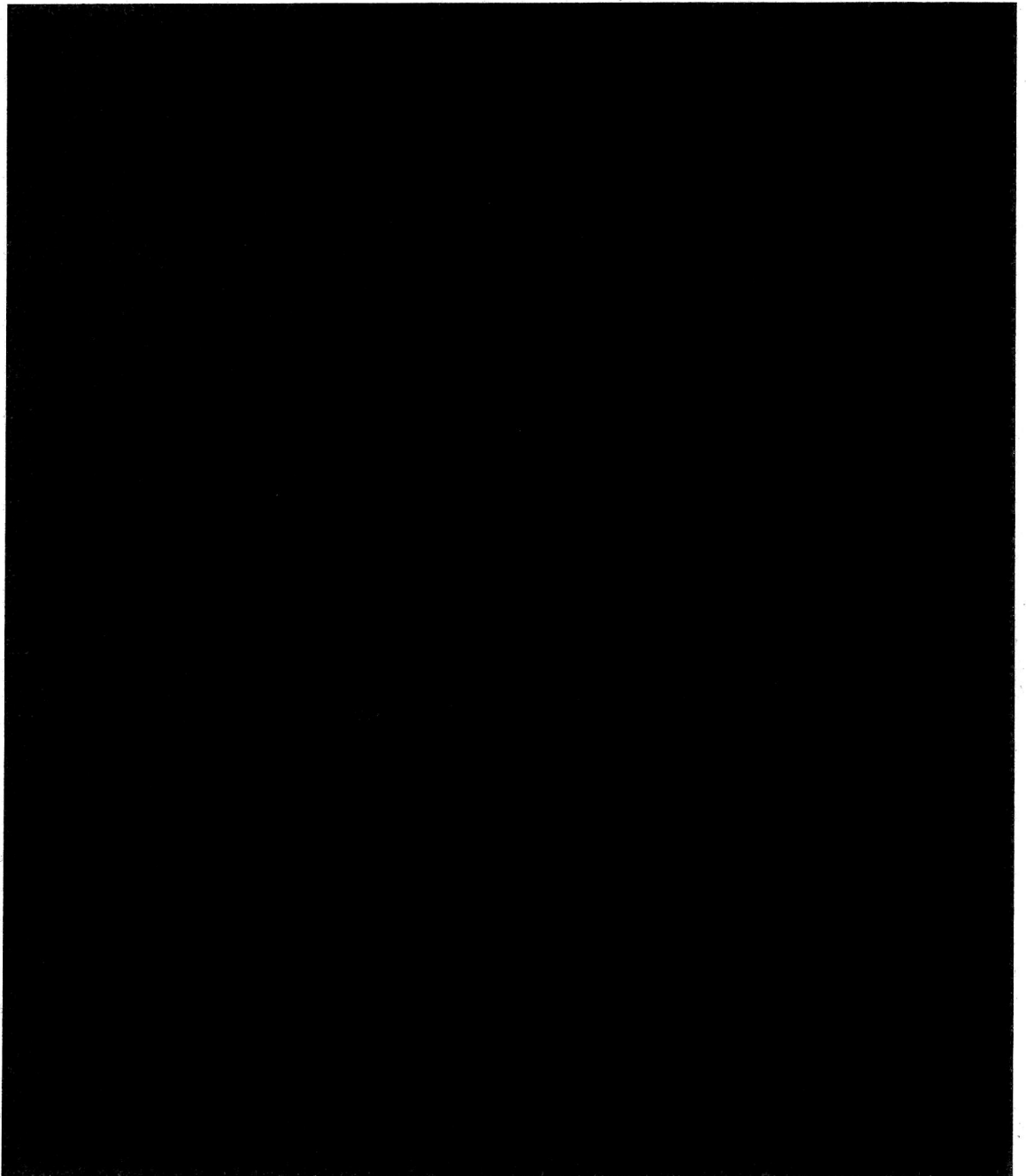


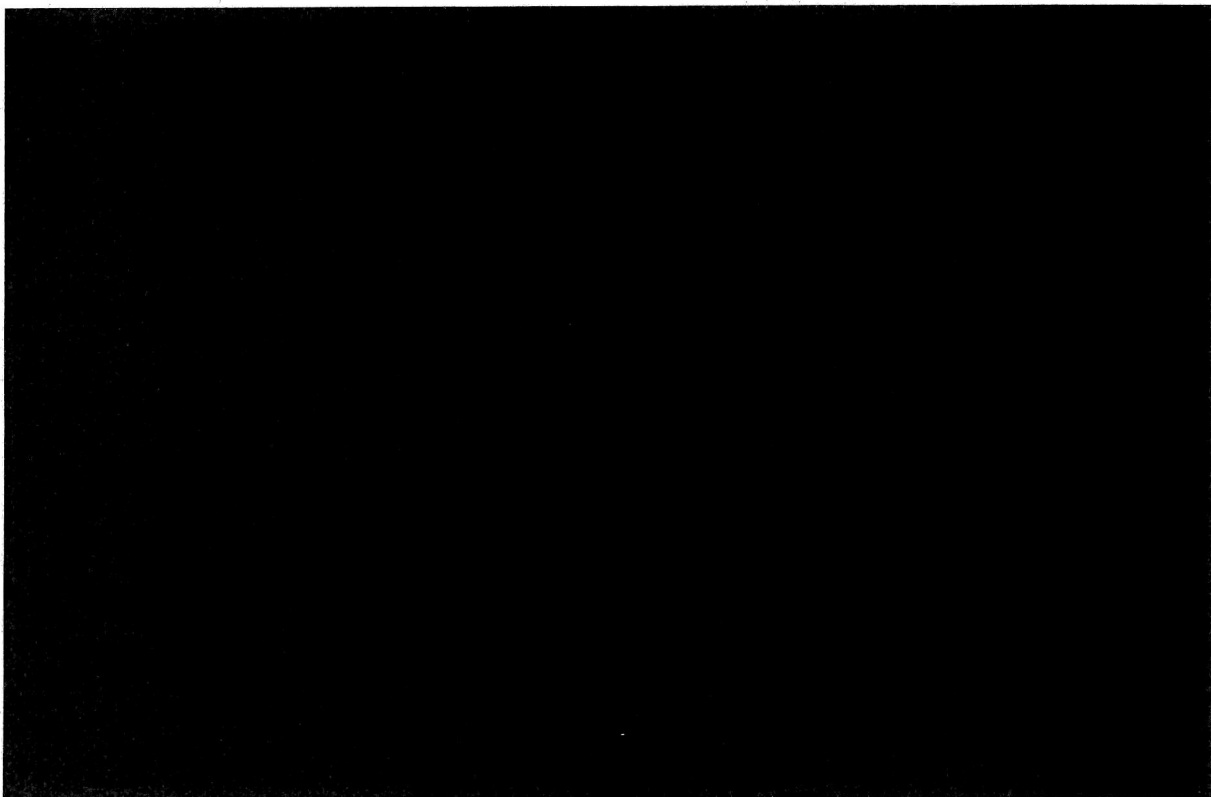


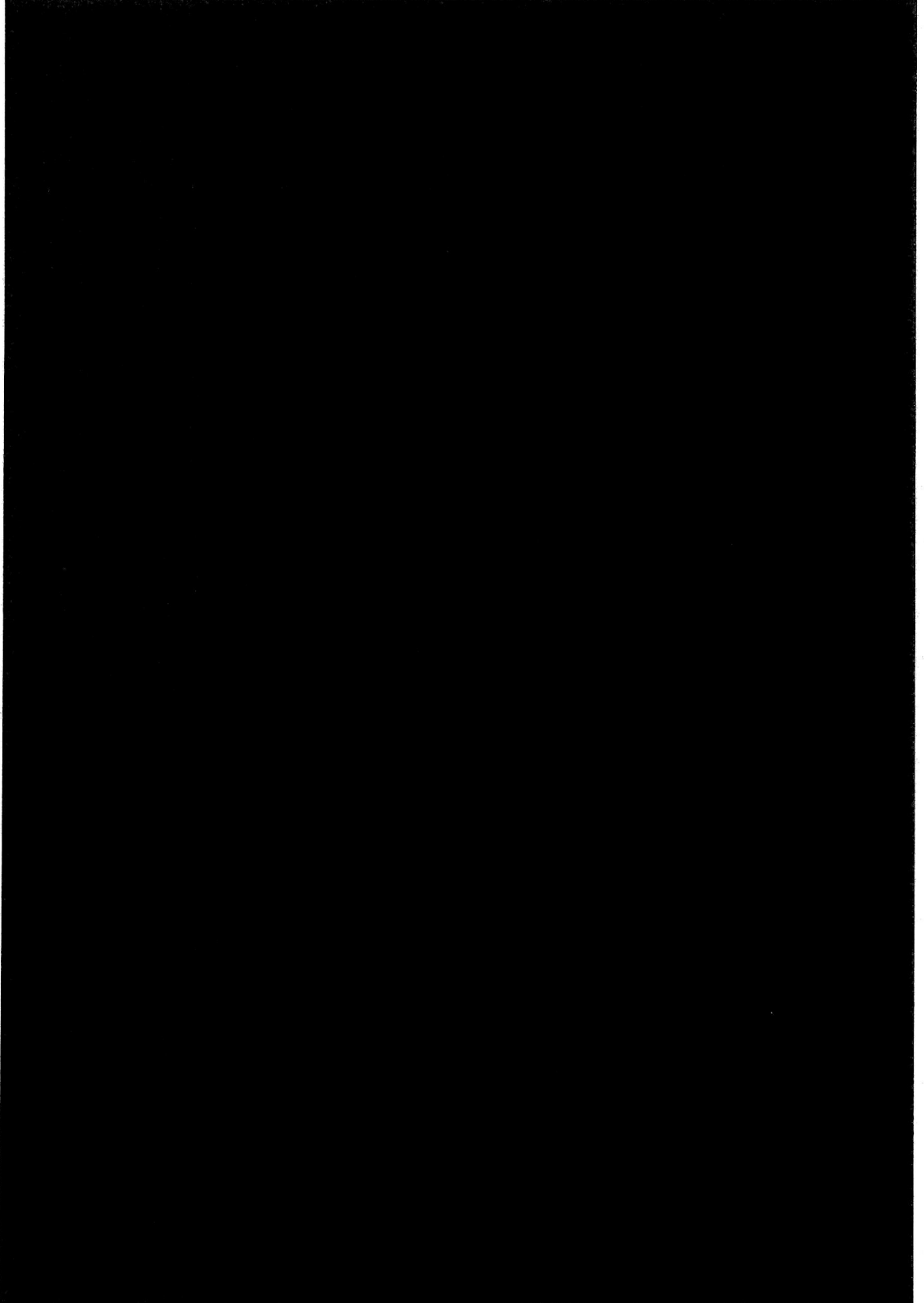


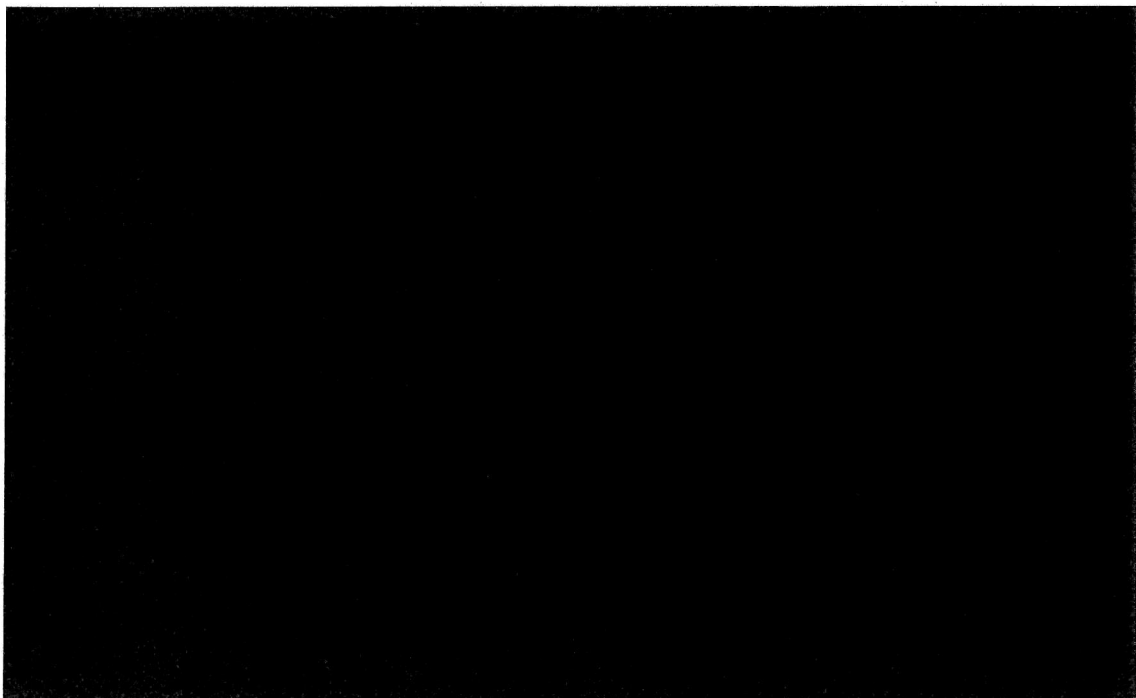


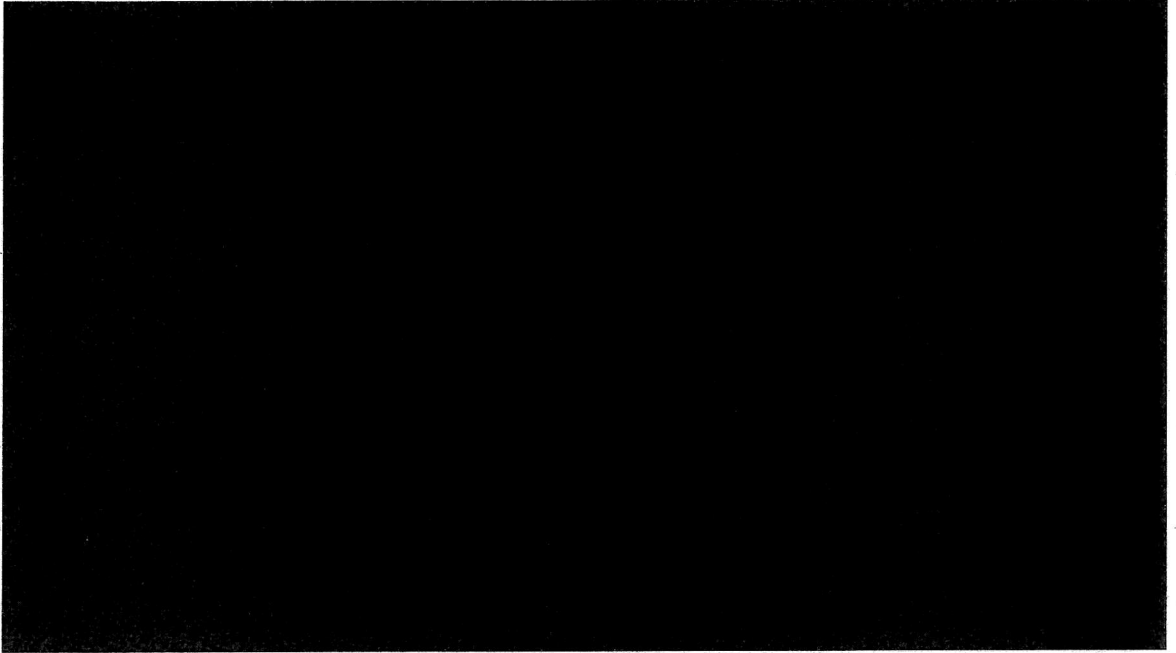


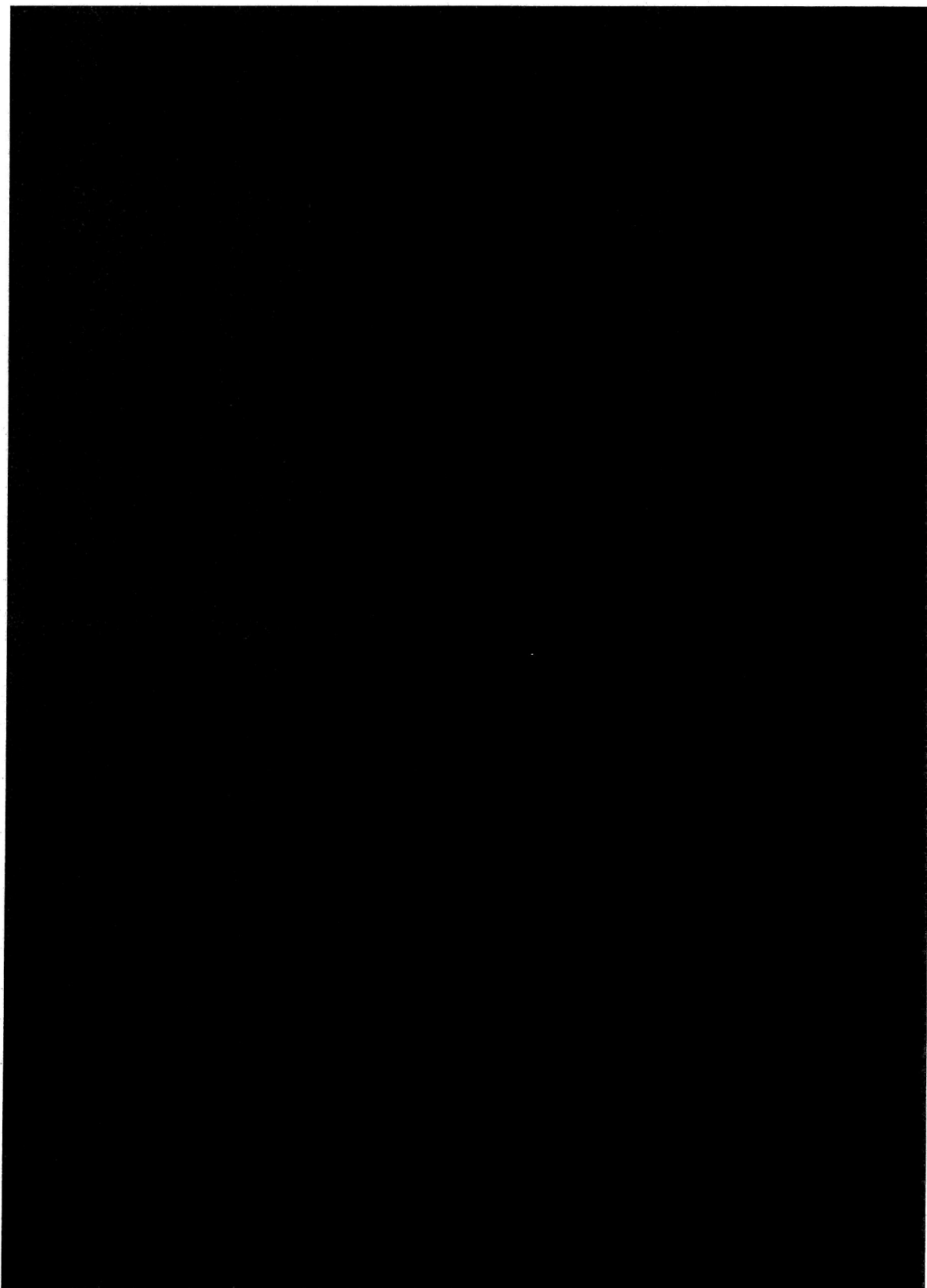


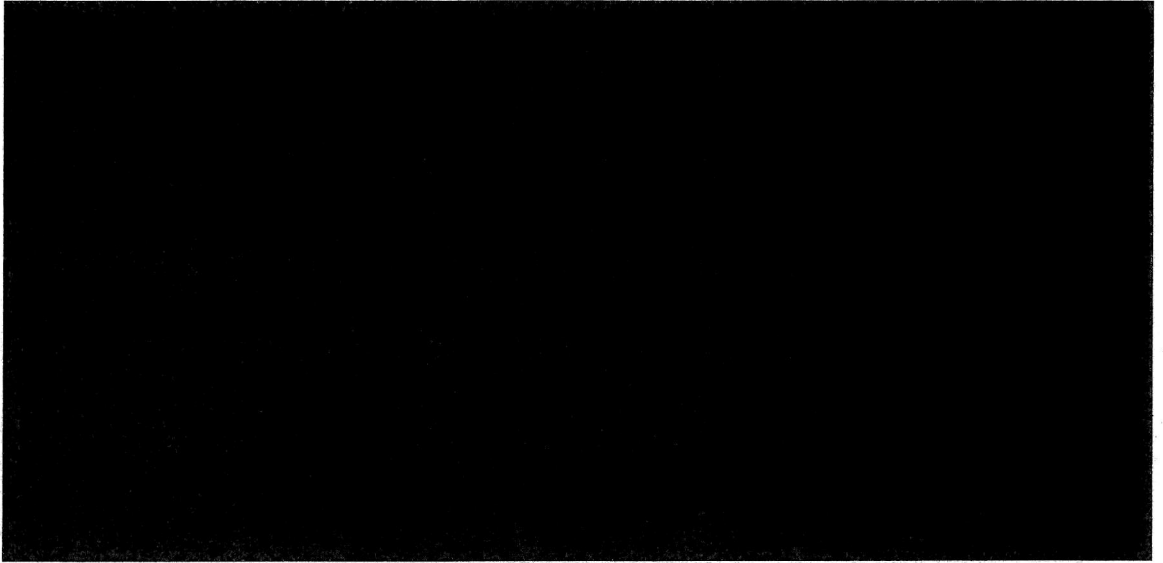


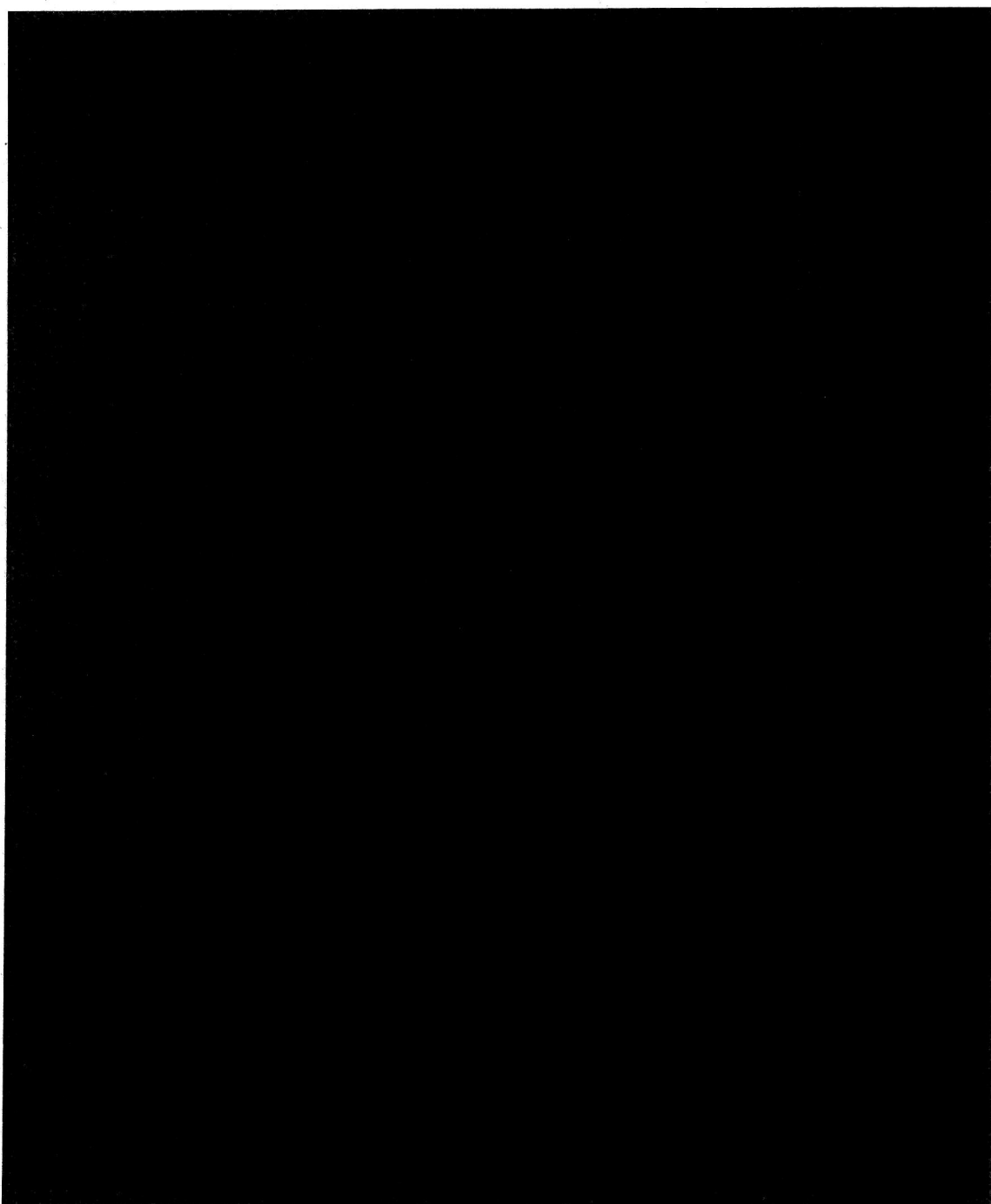












H30.11月改訂版

情報セキュリティのルール（裁判官）